

2027 年度

お茶の水女子大学大学院

人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

学士・修士一貫教育トラック特別選抜

内部推薦特別入試

学生募集要項



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

〒112-8610 東京都文京区大塚 2 丁目 1 番 1 号

☎ 03(5978)5697

HP <https://www.ao.ocha.ac.jp/>

※試験期日は社会情勢により、急きょ変更になる可能性があります。変更があった場合は、あらかじめ通知します。随時、入試情報 WEB サイトで最新情報を確認してください。

〔学士・修士一貫教育トラック特別選抜 ・ 内部推薦特別入試 実施コース〕

学士・修士一貫教育トラック特別選抜、内部推薦特別入試を実施するのは以下の専攻・コースです。

学士・修士一貫教育トラック特別選抜は、出願時まで希望専攻・コースのトラック選抜要件を満たしている者が対象です。

○印:各入試を実施する専攻・コース

| 専攻 | コース | 学士・修士一貫教育 トラック特別選抜 | 内部推薦特別入 試 |
|-----------|---------------------|-----------------------|--------------|
| 比較社会文化学 | 日本語日本文学コース | — | — |
| | アジア言語文化学コース | ○ | — |
| | 英語圏・仏語圏言語文化学コース(英文) | — | — |
| | 英語圏・仏語圏言語文化学コース(仏文) | ○ | — |
| | 日本語教育コース | — | ○ |
| | 思想文化学コース | — | — |
| | 歴史文化学コース | — | — |
| | 生活文化学コース | ○ | — |
| | 舞踊・表現行動学コース | — | ○ |
| | 音楽表現学コース | — | ○ |
| 人間発達科学 | 教育科学コース | ○ | — |
| | 心理学コース | ○ | — |
| | 発達臨床心理学コース | — | — |
| | 応用社会学コース | ○ | — |
| | 保育・児童学コース | ○ | — |
| ジェンダー社会科学 | | ○ | — |
| ライフサイエンス | 生命科学コース | ○ | — |
| | 食品栄養科学コース | — | — |
| | 遺伝カウンセリングコース | — | — |
| 理学 | 数学コース | — | ○ |
| | 物理科学コース | ○ | — |
| | 化学・生物化学コース | ○ | — |
| | 情報科学コース | — | ○ |
| 共創工学 | | — | ○ |

目 次

| | |
|--|----|
| I. 人間文化創成科学研究科（博士前期課程）の目的・修了要件及び 各専攻・コースの概要・入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） | 1 |
| 比較社会文化学専攻／アジア言語文化学コース | |
| 比較社会文化学専攻／英語圏・仏語圏言語文化学コース | |
| 比較社会文化学専攻／日本語教育コース | |
| 比較社会文化学専攻／生活文化学コース | |
| 比較社会文化学専攻／舞踊・表現行動学コース | |
| 比較社会文化学専攻／音楽表現学コース | |
| 人間発達科学専攻／教育科学コース | |
| 人間発達科学専攻／心理学コース | |
| 人間発達科学専攻／応用社会学コース | |
| 人間発達科学専攻／保育・児童学コース | |
| ジェンダー社会科学専攻 | |
| ライフサイエンス専攻／生命科学コース | |
| 理学専攻／数学コース | |
| 理学専攻／物理科学コース | |
| 理学専攻／化学・生物化学コース | |
| 理学専攻／情報科学コース | |
| 共創工学専攻 | |
| II. 入試要項 | |
| 1. 実施専攻・コース及び募集人員 | 6 |
| 2. 出願手続 | 7 |
| (1) 試験期日・合格発表日 | 7 |
| (2) 出願期間 | 7 |
| (3) 出願方法 | 7 |
| (4) 選考方法 | 8 |
| (5) 合格発表等について | 8 |
| (6) 納入金（入学料及び授業料） | 8 |
| (7) 入学手続について | 8 |
| (8) 長期履修学生制度について | 8 |
| (9) 奨学金、入学料減免、授業料減免、学生寮等 | 9 |
| (10) 受験上・修学上の配慮の事前相談について | 9 |
| 3. 個人情報及び試験成績の利用について | 9 |
| 4. 学生募集及び入学試験に関する問い合わせ先 | 9 |
| III. 学士・修士一貫教育トラック特別選抜 | 10 |
| IV. 内部推薦特別入試 | 20 |
| V. 担当教員及び主な授業科目 | 27 |
| インターネット出願の流れ | 30 |

I. 人間文化創成科学研究科（博士前期課程）の目的・修了要件及び各専攻・コースの概要・入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【目的】

博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的とする。

【修了要件】

1. 博士前期課程の修了要件は、当該課程に2年以上在学し、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、本学大学院の行う修士論文の審査又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、優れた研究業績を上げたと認められた者の在学期間に関しては、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
2. 前項の場合において、博士前期課程の目的に応じて適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって、修士論文の審査に代えることができる。

【進学】

本学大学院の博士前期課程を修了した者は、選考の上、博士後期課程に進学することができる。

○ 取得できる学位

| 専攻 | 学位 | 学位に付記する専攻分野の名称 |
|-------------|----|-------------------|
| 比較社会文化学専攻 | 修士 | 人文科学・社会科学・生活科学・学術 |
| 人間発達科学専攻 | | 人文科学・社会科学・生活科学・学術 |
| ジェンダー社会科学専攻 | | 人文科学・社会科学・生活科学・学術 |
| ライフサイエンス専攻 | | 生活科学・理学・学術 |
| 理学専攻 | | 理学・学術 |
| 共創工学専攻 | | 共創工学・工学・学術 |

【単位互換】

本学の大学院と単位互換協定を締結している大学の大学院は、次のとおりである。

| 協定先 | | 本学前期課程 | 協定先 | | 本学前期課程 |
|-----------|---|---------------------------------|---------------|---|---------------------------------|
| 総合研究大学院大学 | 先端学術院 | 全専攻 | 東京都立大学 | 理工学研究科（生命科学専攻） | 比較社会文化学専攻 ライフサイエンス専攻 理学専攻 |
| 筑波大学 | システム情報工学研究科 | 全専攻 | 学習院大学 | 自然科学研究科 | 全専攻 |
| 東京外国語大学 | 総合国際学研究科 | 全専攻 | 北里大学 | 薬学研究科 | 全専攻 |
| 東京科学大学 | 歯学総合研究科 理学院、工学院、物質理工学院、 情報理工学院、生命理工学院、環 境・社会理工学院 | 全専攻 | 慶應義塾大学 | メディアデザイン研究科 | 全専攻 |
| | | | 芝浦工業大学 | 理工学研究科 | ライフサイエンス専攻 理学専攻 |
| 東京海洋大学 | 海洋科学技術研究科 | 全専攻 | | | |
| 東京藝術大学 | 音楽研究科 | 全専攻 | 情報セキュリティ大学院大学 | 情報セキュリティ研究科 | 全専攻 |
| 東京大学 | 人文社会系研究科 （アジア文化研究専攻 中国語 中国文学専門分野） | 比較社会文化学 専攻 | 中央大学 | 理工学研究科 | 全専攻 |
| | 教育学研究科 | 人間発達科学専 攻 ジェンダー社会 科学専攻 | 東京女子医科大学 | 医学研究科 | 全専攻 |
| | 理学系研究科、数理科学研究科、 情報理工学系研究科 | 全専攻 | 日本女子大学 | 家政学研究科、文学研究 科、理学研究科、 人間社会研究科、人間生活 学研究科 | 全専攻 |
| | 総合文化研究科（広域科学専攻 相関基礎科学系） | 理学専攻 | 早稲田大学 | 先進理工学研究科 | ライフサイエンス専攻 理学専攻 |
| 奈良女子大学 | 人間文化総合科学研究科 | 全専攻 | | | |

【専攻・コースの概要及び入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度な専門性を要する職業等に必要高度の能力を養うことを目的とする。

◎ 比較社会文化学専攻

社会と文化に関する専門研究を真に高いレベルで構築することを目指す本専攻は、個々の分野における専門研究を展開する基礎となる十分な知識と学力をもち、さらに、学際的な研究視野を得るために必要な幅広い教養を具えた学生を求めている。

言語文化分野の4コース（日本語日本文学コース、アジア言語文化学コース、英語圏・仏語圏言語文化学コース、日本語教育コース）では、人間の基本的営為の一つである言語活動とそれに基づいて営まれている様々な文化現象について、高度で総合的な研究を行う。

人文学分野の5コース（思想文化学コース、歴史文化学コース、生活文化学コース、舞踊・表現行動学コース、音楽表現学コース）では、思想、歴史、生活の各側面とともに、身体活動を中核とした芸術系の分野を加え、専門的であると同時に学際的な視点から、人間の文化活動を通時的かつ共時的に幅広くとりあげ、総合的に探究することを目指す。

○ 【アジア言語文化学コース】

中国大陸、台湾、香港、東南アジアなど、中国語圏における言語と文学を主要な研究対象とする。中国古典の伝播と受容といった比較文化論的研究や、中国語と他言語の対照研究も行う。

中国語学や中国文学の研究者を目指す人、中国語教師、国語教師としてのスキルアップを目指す人を歓迎する。

本コースは専門（中国古典語学、現代語学、古典文学、近現代文学）に関する知見、中国語の読解力・口頭能力、および具体的な研究計画を有する学生を受け入れる。

○ 【英語圏・仏語圏言語文化学コース】

英語圏言語文化専修と仏語圏言語文化専修に分かれるが、必要に応じ、各言語圏のあいだの交流や比較対照の視点も採り入れて研究を行う。研究分野は文学系と語学系に大別され、文学系では、各言語圏の文学と文化を研究対象とする。語学系では、英語学、仏語学、ならびに英語学を基礎とした英語教育の研究を行う。

実際の選抜方法においては、特に以下の3点を評価の基準としている。即ち、自分の専門分野の言語と、更にそれとは異なる外国語とを確実に習得していること（英語、フランス語、ドイツ語、中国語から選択）、専門分野の基礎的な知識を十分に有していること、独創的な研究論文を書く能力が認められるということ、という3点である。

○ 【日本語教育コース】

国内外における日本語教育への多様なニーズに対応できる高度な専門性と研究能力をもった人材の養成と現職日本語教員の再教育を行う。

日本語教育学及びその周辺諸領域における基本的な知識と、これらの領域において2年間で修士論文としてまとめられるような具体的な研究計画をもっているかどうかを専門試験と口述試験で判定する。

○ 【生活文化学コース】

服飾・工芸・住居など生活造形を中心とした生活文化の諸事象を対象とし、文化史・社会史・比較文化論・民俗学などの多様な視座のもとで新しい学際研究を試みるコースである。特に、日本・西洋の服飾の歴史や現代モードなどの服飾文化を明らかにする研究、工芸・デザインなどを中心とした生活文化を比較文化論の立場から総合的に論じる研究、および日々受け継がれてきた生活文化を民俗学・文化人類学の立場から論じる研究が中心である。

生活文化に関する幅広い教養と視野、および研究対象についての専門的知識と独創的な分析力を持ち、生活文化論を人間理解の途として日本の内外に発信する意思のある学生を求める。

○ 【舞踊・表現行動学コース】

舞踊・スポーツなどの身体表現運動について、芸術学、民族学、教育学、身体運動科学などの分野から学際的に教育・研究を行なう。特に舞踊教育、舞踊芸術、民族舞踊、体育科教育、動作学といった研究領域が中心である。舞踊やスポーツの実践をふまえ、理論的、科学的知見を十分に修得した専門の人材（研究者、体育教師、指導者、上演者など）の育成を目指す。

本コースを志望するものは、舞踊やスポーツの実践経験を有することが望ましく、修士論文作成のために十分な外国語の能力と専門知識が求められる。

○ 【音楽表現学コース】

音楽を文化表象として、理論と実践の双方から研究する。理論面では、日本を含めた世界の諸文化と音楽との関連を扱う音楽学研究、実践面では、西洋近代の鍵盤音楽と声楽を主要な対象として、身体行動による表現技術の研究を行ない、国際的に通用する研究者と演奏者を養成する。本コースでは、音楽学、声楽、ピアノいずれを専攻するにせよ、水準の高い修士論文が要求されるので、十分な外国語（特に英語）の力と専門知識とが必要である。また、大学院は研究の場であるので、自ら思考し実践する積極的姿勢を備えていることが求められる。

◎ 人間発達科学専攻

社会的かつ個人的存在としての人間とその発達過程を対象に、教育科学、心理学、社会学等をベースとして、学際的にアプローチする。また、社会的・心理的諸病理の解決を目指した実践的課題意識に基づいて、社会－人間－発達を総合的・有機的に結びつける理論と、経験科学的方法論を探究する。

○ 【教育科学コース】

人間の生涯にわたる発達の過程を多様な方法論により科学的に探究するとともに、諸教育問題の解決に資する実践的な研究を行う。基礎科学・方法論として、教育思想、教育史、教育社会学を置き、またマクロ・ミクロの実践科学として教育課程論、教育方法論、教育開発論、教育心理学、特別支援教育論を設置する。

当コースでは、人間の発達について教育科学的に考えることのできる研究者および研究者的な視点をもつ実践者の育成をめざしている。第1次選考では、専門試験（英語読解を含む）によって、教育学の基礎的能力を確認する。第2次選考（口述試験）では卒業論文を含む出願書類を参照しながら、研究報告書、研究計画などを評価する。なお、卒業論文を重要な合否判定の資料とする。合否は第1次選考、第2次選考、卒業論文を総合的に判断する。卒業論文又は研究成果がわかるものがない場合には、第1次選考、第2次選考の結果により合否を判断する。本コースは、人間の発達に深い関心を持ち、自身の専門とする領域の研究方法に通暁した学生の入学を希望する。

○ 【心理学コース】

心理学コースでは、人間の心理を、脳を核として、発達という時間軸、社会という空間軸の中で、多次的・総合的に検討し理解する。

そのために次のような授業科目を設けている。「発達心理学特論」「認知科学基礎論」「社会心理学特論」「健康心理学特論」「教育心理学基礎論」。これらの授業科目における教育・研究を通して心理学領域の研究者を育成することが、本コースの目的である。

将来研究者や心理学の専門職を希望する学生を期待する。すでに心理学の基礎的な統計的手法や研究方法を習得していること、英文の学術論文の読解力を求める。広い分野への関心を期待しつつ、「発達心理学」「認知心理学」「社会心理学」「臨床心理学／健康心理学」「教育心理学」の分野のいずれかにおいて専門的な研究をすすめる意欲のある学生を求める。入学試験では、専門試験（英語読解を含む）によって、志望する分野において専門的な研究を進めるために必要な基礎的能力を確認する。

○ 【応用社会学コース】

現代社会の諸問題（家族・地域、コミュニケーションの問題など）を社会学的に研究する。

人間関係、職業集団、ネットワークを扱う「社会集団論」、逸脱、差別、コミュニケーションを扱う「社会意識論」、福祉政策、社会問題を扱う「社会福祉論」などを開講する。社会学の理論・研究方法についての基礎的な知識を有し、社会学の諸分野（社会学理論もしくは家族・メディア・ジェンダー・福祉・社会意識・社会集団・社会階層等の社会学的研究）に関する具体的に発展性のある研究計画をもつ方の入学を期待する。前期課程修了後は、博士後期課程への進学と民間研究機関や公務員・一般企業への就職という2つの方向が考えられる。

試験科目は専門試験・口述試験であるが、専門試験において英語読解能力や日本語論述能力も測る。また合否の判定にあたっては、卒業論文も重要な判定の資料となる。卒業論文を執筆していない場合、卒業論文の分野が理系である場合、卒業論文が日本語と英語以外の言語で書かれている場合は、卒業論文と同等以上の水準の社会学的な主題に関する日本語の論文を提出すること。社会学的な主題に関する卒業論文を英語で執筆している場合に限り、その英語論文に日本語要約を添付して提出することを認める。

○ 【保育・児童学コース】

保育学・児童学領域の研究者、もしくは研究者的な視点を有する実践者として、家庭、保育・教育現場へ有効な支援をおこなえる人材、そのような支援のあり方を研究する人材を育成することを目的とする。保育学、児童学、発達心理学、社会学、教育学などをベースに、専門的力量と研究的資質の向上を図るための講義等を開講する。そして乳幼児期以降の保育・教育の研究、発達支援および子育て支援の研究、保育所・幼稚園・認定こども園等から小学校以上の学校教育を見通した連携の在り方や接続期における教育の研究等を行う。

本コースでは、学部からの進学者のみならず、子どもの教育・福祉に関する現職者、現場経験者等、また、幅広い経験を有した社会人を歓迎する。子どもをとりまく多様な実践的・理論的課題に対し、分析的・科学的にアプローチしようとする志願者を希望する。

入学試験では、専門試験・口述試験において英文読解及び、専門的・基礎的知識と科学的な論述や分析力を確認する。出願書類ならびに卒業論文も重要な判定の資料となる。卒業論文を執筆していない場合、また卒業論文の分野が著しく異なる等の場合には、研究成果を示した研究報告書の提出を求め、これについても審査の対象とする。

◎ ジェンダー社会科学専攻

ジェンダー社会科学専攻では、ひろく地理学・社会科学等の諸分野の分析手法とジェンダー視点を結びつけることにより、従来の「常識」を再検討し、新たな問題領域を発見する研究をめざしている。方法論的には、女性・生活・家族・社会・地域・都市・国家・環境等をめぐる現代的・具体的な諸課題に向き合うために、既存の個別領域のアプローチを尊重しつつ、ジェンダー視点と切り結んだ学際的アプローチに依拠することにより、21世紀社会を展望する新領域創成に挑戦する。

教育目標は、新領域開拓にふさわしい教養と学力を涵養し、現実的・具体的な諸課題の解決や男女共同参画社会の構築、社会政策の構想に寄与しうる人材、グローバル社会のもとで国際的な活動に貢献できる人材を養成することに主眼を置いている。本専攻のスタッフ構成は、地理学・地域研究・開発学・国際関係論・社会学・経済学・政治学・法学と多様であり、学生が研究テーマを多面的・複眼的・学際的に考察する上で必要な支援を提供する。また、学生は、自分の問題関心と方法論に即して3つの科目群（ジェンダー研究・専門・学際方法論）から様々なパターンで演習等を履修することが可能である。

ジェンダー論、社会科学、地理学など本専攻に関係する基本的な知識・思考力と、英語で書かれた文献を読み、英語で記述する力を持ち、新領域を切り拓く領域横断的な研究に意欲と関心のある志願者を歓迎する。

◎ ライフサイエンス専攻

本専攻は、基礎生命科学からバイオテクノロジーにわたるライフサイエンス全般の発展に寄与するため、「生命科学」、「生活科学」という学問領域の有機的な統合を試み、人間を生命、生活の両面から捉える。そのため、生命科学コース、食品栄養科学コース、遺伝カウンセリングコースを設置する。ライフサイエンス全般を基礎から応用まで幅広く理解できる人材を選抜する。本専攻の学生には教員の指導の下、実験・調査を主体とする、ライフサイエンスに関する研究計画を作成、実施することが求められる。そのため、データ調査分析能力、研究実施能力、研究の妥当性に対する判断力等が求められる。

○ 【生命科学コース】

本コースでは、多様な生物種を対象として、多様性と独自性を特徴とする生命の本質を、遺伝子、ゲノム、生体分子、細胞、個体、集団などのレベルにおいて理解するための教育と研究を目指している。研究を進めるためには、目の前にある生命科学の諸問題を解決するための能力もさることながら、「まだ分かっていないことは何か」「問題にどのように取り組んでいくのか」という、問題を発見し、その生命科学の現象を明らかにしていく道筋を具体化する能力が必要である。また、自分の興味以外にも視野を広げ、そこから自らの問題に関連のある知見を引き出す努力も必要とされる。本コースでは、生命科学分野の諸現象に対し、自らを高める向上心に満ち、かつ知的好奇心に溢れた人材を期待する。

◎ 理学専攻

理学専攻は、人間と自然が織りなす複雑な諸現象を、現代自然科学の方法論に基づいて学際融合的に教育研究し、新しい科学の創成を目指しつつ次世代を担う人材を養成することを目的としている。十分な基礎学力と緻密な思考力をもつと同時に、自然の論理の美しさに感動し、未知との遭遇に好奇心をそえられるような感受性を有する多くの学生と共に科学を楽しみたい。

○ 【数学コース】

様々な分野との関連も視座に入れた数学理論の展開に関する高度な専門教育と研究を行い、高度な数学的知識と数学的な運用能力をもつ高度専門職業人、中学校・高等学校教師、研究者等を養成することを目標とする。この教育目標に沿って、未解決の問題にチャレンジしたい、数学の美しさ面白さに深く感動したい、数理的な方法センスを身につけ社会の場で生かしたい等数学が好きで学ぶ意欲に溢れ、数学分野に対する基礎的な学力を持つ学生を広く受け入れる方針である。

実際の選考では、微分積分学、線形代数学など、どの数学分野を専攻するにも必要となる内容や専攻したいと希望する数学分野の基礎について、基本的な概念や事実の理解度、基本的な計算を確実に行える力、明解正確な説明論証を行える力などをみる。

○ 【物理科学コース】

物質を構成する最も基本的な単位である素粒子から、多数の原子分子から構成される固体や液体、そして天文や宇宙までを対象に、物質が示す興味深く多彩な性質を解明すると同時に新たな現象を予測することを目的として、量子論、統計力学、相対論をはじめとする物理学の様々なアプローチを総合して教育研究に取り組んでいる。自然を深く考える好奇心に満ちた学生や、粘り強く物事を考え抜く忍耐強い学生、自然を直感的に発想することができる学生、或いは論理にこだわって緻密に推論する学生、など個性的で主体性を持ち、かつ学士課程で学んだ物理学の基礎知識を身につけた意欲的な学生を望む。

○ 【化学・生物化学コース】

有機・無機分子および金属錯体から、タンパク質や糖などの生体高分子に渡る広範な分子および分子集合体を対象とし、合成、構造、反応、物性、機能、および分子間相互作用に関して、幅広い角度から実験と理論の研究および教育を行う。分子科学的な研究を推進するために必要な知識を得ることや、生命の普遍的なしくみを化学的に解明することに興味を持ち、境界領域や未知の分野を切り拓くことに意欲的な学生を望む。

○ 【情報科学コース】

情報科学は進展の速い分野である。このような分野で世界の先端を走る研究者、高度専門職業人、情報科学の次世代を語る教育者等を養成するため、情報の基礎理論から応用技術まで幅広い分野の研究、教育を行う。この目標に沿って、情報科学、数理学に対する基礎的な学力、英語で書かれた文献の読み書きができる素養を持ち、強い意欲を持つ者を広く受け入れる。

◎ 共創工学専攻

本専攻では、多種多様な社会の要請に応えるために、技術を探求する「工学」の専門知と「文化」「社会」の専門知、「データサイエンス」の専門知を幅広くかつ協働して学び、さらに社会との協働を通して実践する共創能力を有する人材を養成する。

上記を踏まえ、共創工学専攻博士前期課程では、以下の人を広く求める。

- ・ 共創工学の深い専門知識と高度な技術を身につけた技術者を目指している人
- ・ 学修した工学の知識と技術を、人文学・社会科学の知識と協働させて「生きた知識」「生きた技術」にし、現実的諸課題の解決に積極的に貢献したいという意欲をもっている人
- ・ 広い視野と倫理観を身につけて、共創工学の趣旨にもとづき、課題解決のためにさまざまな人と協働するためのリーダーシップや行動力、コミュニケーション力を発揮しようとする意欲をもっている人

Ⅱ. 入試要項

1. 実施専攻・コース及び募集人員

○印：各入試を実施する専攻・コース

| 専攻 | コース | 学士・修士一貫教育 トラック特別選抜 | 内部推薦特別入試 | 募集人数 |
|-------------|--------------------------------|-----------------------|----------|------|
| 比較社会文化学専攻 | アジア言語文化学コース | ○ | — | 若干名 |
| | 英語圏・仏語圏言語文化学コース (仏語圏言語文化専修) | ○ | — | |
| | 日本語教育コース | — | ○ | |
| | 生活文化学コース | ○ | — | |
| | 舞踊・表現行動学コース | — | ○ | |
| | 音楽表現学コース | — | ○ | |
| 人間発達科学専攻 | 教育科学コース | ○ | — | |
| | 心理学コース | ○ | — | |
| | 応用社会学コース | ○ | — | |
| | 保育・児童学コース | ○ | — | |
| ジェンダー社会科学専攻 | | ○ | — | |
| ライフサイエンス専攻 | 生命科学コース | ○ | — | |
| 理学専攻 | 数学コース | — | ○ | |
| | 物理科学コース | ○ | — | |
| | 化学・生物化学コース | ○ | — | |
| | 情報科学コース | — | ○ | |
| 共創工学専攻 | | — | ○ | |

2. 出願手続

(1) 試験期日・合格発表日

| 専攻 | 試験期日 | 合格発表日 |
|-------------|----------------------|------------------|
| 比較社会文化学専攻 | 2026年9月7日(月) | 2026年9月11日(金) 正午 |
| 人間発達科学専攻 | 2026年9月6日(日) 9月7日(月) | 2026年9月11日(金) 正午 |
| ジェンダー社会科学専攻 | 2026年9月6日(日) | 2026年9月11日(金) 正午 |
| ライフサイエンス専攻 | 2026年8月1日(土) | 2026年8月7日(金) 正午 |
| 理学専攻 | 2026年8月1日(土) 8月2日(日) | 2026年8月7日(金) 正午 |
| 共創工学専攻 | 2026年8月1日(土) | 2026年8月7日(金) 正午 |

(2) 出願期間

| 専攻 | インターネット出願登録期間 | 郵送出願期間 |
|-------------|-------------------------------------|----------------------------------|
| 比較社会文化学専攻 | 2026年 7月6日(月) 9:00~7月15日(水) 8:59 | 2026年 7月10日(金) ~7月15日(水) 【必着】 |
| 人間発達科学専攻 | 2026年 7月6日(月) 9:00~7月15日(水) 8:59 | 2026年 7月10日(金) ~7月15日(水) 【必着】 |
| ジェンダー社会科学専攻 | 2026年 7月6日(月) 9:00~7月15日(水) 8:59 | 2026年 7月10日(金) ~7月15日(水) 【必着】 |
| ライフサイエンス専攻 | 2026年 6月29日(月) 9:00~7月8日(水) 8:59 | 2026年 7月3日(金) ~7月8日(水) 【必着】 |
| 理学専攻 | 2026年 6月29日(月) 9:00~7月8日(水) 8:59 | 2026年 7月3日(金) ~7月8日(水) 【必着】 |
| 共創工学専攻 | 2026年 6月29日(月) 9:00~7月8日(水) 8:59 | 2026年 7月3日(金) ~7月8日(水) 【必着】 |

インターネット出願の登録と検定料の納入を済ませ、なおかつ、出願書類が本学に到着するよう送付すること。
郵送出願は、**郵送出願期間最終日 17 時必着**とする。ただし、最終日前日の日本国内の受付局消印のある物に限り、
期間後に到着した場合でも受理する。

(3) 出願方法

インターネット出願サイトで登録後、各専攻・コースで定められた出願書類を一括して、必ず本学所定の出願用封筒貼付用宛名シート(インターネット出願時印刷可能)を用い、「書留速達」で下記宛てに郵送すること。

窓口では受け付けないので注意すること。

郵送(提出)先 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

お茶の水女子大学 入試課 宛

インターネット出願の流れについては、30~33 ページ「インターネット出願の流れ」を参照すること。

- ① 本要項に基づく入試に出願する場合、同日程で実施する他の入試区分への併願は認めない。
- ② 出願後の志望専攻・志望コースの変更は認めない。
- ③ 提出された書類に不備がある場合には受理しない。記入漏れ等がないよう注意すること。また出願受理後は、いかなる事情があっても出願書類等の変更・返却には応じない。

- ④ 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。
- ・検定料を振り込んだが本学に出願しなかった、または出願が受理されなかった場合
 - ・検定料を誤って二重に振り込んだ、または多く振り込んだ場合
- 検定料は出願者からの返還請求に基づき返還するので、上記の返還事由に該当する場合には、2026年9月11日(金)までにお茶の水女子大学入試課に連絡すること。(出願した後に受験を取りやめた場合は、返還事由に該当しない。)
- ⑤ 本学で出願を確認後、郵送出願期間の最終日から約3週間後までに(8月に実施する入試は入学試験日の約1週間前までに)受験票と受験者心得をインターネット出願サイトのマイページに掲載する。内容を確認のうえ、試験当日に必ず持参すること。

(4) 選考方法

入試種別、実施専攻・コースによって異なる。詳細は、各入試毎の専攻別要項に記載。

(5) 合格発表等について

合格発表日に合否照会システムで通知する。
下記 URL もしくは右記二次元コードにアクセスすること。
<https://www.gouhi.com/ocha/>
電話等による合否の問合せには、一切応じない。

二次元コード



(6) 納入金(入学料及び授業料)

- | | | |
|-------|--------------|---------------------|
| ① 入学料 | 282,000円 | (予定額) |
| ② 授業料 | 半期分 267,900円 | (年額 535,800円) (予定額) |

入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。
入学時には、上記入学料、授業料のほか学生教育研究災害傷害保険料など若干の経費を要する。

(7) 入学手続について

下記 URL にアクセスし、入学手続期間に注意して、手続を進めること。

https://www.ao.ocha.ac.jp/admission_procedure/index.html

入学試験合格者への連絡事項[PDF]に記載された入学手続期間を予め確認しておくこと。

- (注1) 入学手続後は、事情により入学を辞退した場合でも、入学料は返還されない。
(注2) 受験票は、入学手続の際にも必要となるので、紛失しないように注意すること。
(注3) 合格発表後、住所を変更した場合は必ず入試課へ申し出ること。

(8) 長期履修学生制度について

職業を有する等の事情により、一般の学生に比べて年間に修得できる単位数が限られ、標準修業年限で修了することが困難な学生を対象として、長期履修学生制度を導入している。そうした事情にある者は、2年間で設定されている修業年限を3年間または4年間で履修し、課程を修了することを認められることがある。(全ての申請者が適用を受けられる訳ではなく、制度の趣旨に沿っているかを学内の委員会で審査し、適用の可否を決定する。)
「職業を有する者」とは、有職者(正規雇用、臨時雇用(パートタイムなど正規に近い勤務時間の者)、自営業等)、家事、育児、介護、障がい等の事情にあることをいう。

長期履修学生として認められた場合の授業料は、「定められた授業料の年額」に「標準修業年限」を乗じて得た額を「許可された修業年限」で除して得られた額となる。

長期履修学生を希望する者は、入学手続期間内に申請書類を提出すること。不明な点については、本学学務課大学院担当(TEL 03-5978-5821,5822, E-mail daigakuin@cc.ocha.ac.jp)に問い合わせること。

(9) 奨学金、入学料減免、授業料減免、学生寮等

日本学生支援機構による貸与型奨学金や、地方公共団体や民間団体による給付型及び貸与型奨学金の申請も受け付けている。また、本学独自の給付型奨学金として、桜蔭会研究奨励賞（予約型奨学金、学内進学者対象）がある。これは、進学を希望する本学学部生に対し、進学後の経済・研究支援を行うことを目的とする制度である。その他学生支援として、入学料減免や授業料減免、徴収猶予の制度がある。詳細については、本学ホームページを参照すること。

○奨学金について <https://www.ocha.ac.jp/campuslife/scholarship/about.html>

○入学料及び授業料の減免・徴収猶予制度について

<https://www.ocha.ac.jp/campuslife/info/exemption.html>

○学生寮

<https://www.ocha.ac.jp/campuslife/lodgings/index.html>

不明な点については、本学学生・キャリア支援課（下記）に問い合わせること。

奨学金担当 TEL 03-5978-5148, E-mail gakusei@cc.ocha.ac.jp

入学料及び授業料免除、学生寮担当 TEL 03-5978-2646, E-mail gakusei@cc.ocha.ac.jp

(10) 受験上・修学上の配慮の事前相談について

① 心身に障がいあるいは疾病があり、受験上配慮を必要とする者（点字又は代筆による解答を希望する者を含む）については、本学入試課へ申し出の上、入試の出願約1ヶ月前（8月及び9月入試：2026年6月12日（金））までに「受験上の配慮事前相談申請書」「医師の診断書」等を提出すること。なお、受験上の配慮を講じる必要はないまでも、修学上の不安等を感じる者も、同様に申し出ること。

また、出願後に不慮の事故等により、同様に受験上及び修学上の配慮を希望するに至った場合には、直ちに入試課へ申し出の上相談すること。

② 本学の「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」というミッションから、自身の性自認にもとづき、女子大学で学ぶことを希望する者を2020年4月入学者から受け入れている。戸籍又はパスポートの性別と性自認が異なっている者については、入学後の学生生活をサポートするために、通称名や更衣室の使用などについて、あらかじめ情報を提供したいと考えているので、入試の出願約2ヶ月前（8月及び9月入試：2026年5月29日（金））までに必ず入試課に申し出ること。その際に、本学に正規生として在学中の学生は「出願申出書」と学生証の写しを提出すること。申し出によって、合否判定の際に不利に取り扱われることはない。

3. 個人情報及び試験成績の利用について

- (1) 個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人お茶の水女子大学個人情報の管理に関する規則」に基づいて適切に取り扱う。
- (2) 大学が取得した氏名、住所、成績及び学修状況等の個人情報は、入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除、奨学金の選考等）及び授業料等に関する業務を行う為に必要な範囲内で利用する。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試の改善や志願動向の調査・分析及びこれらに付随する業務を行うために必要な範囲内で利用する。調査・分析等結果の発表に際しては個人が特定できないように処理する。
- (4) お茶の水女子大学は、「個人情報の保護に関する法律」に規定されている場合を除き、本人の同意を得ることなく今回入手した個人情報を他の目的で利用又は第三者に提供することはない。

4. 学生募集及び入学試験に関する問い合わせ先

お茶の水女子大学入試課

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

TEL 03-5978-5697（土日祝日、年末年始を除く平日 9時～17時受付）

E-mail nyushi@cc.ocha.ac.jp

Ⅲ. 学士・修士一貫教育トラック特別選抜

学士・修士一貫教育トラック特別選抜

○ 比較社会文化学専攻（9月入試）

| 実施コース | 募集人員 |
|--|------|
| アジア言語文化学コース 英語圏・仏語圏言語文化学コース（ <u>仏語圏言語文化専修</u> ） 生活文化学コース | 若干名 |

(1) 出願資格

〔アジア言語文化学コース〕

本学に在籍し、2027年3月までに卒業見込である4年生で、以下の要件①から③を満たす者。
なお、2026年9月卒業見込者は含まない。

- ① コース主任 (hashimoto.yosuke@ocha.ac.jp) と、事前に必ずコンタクトをとること。
- ② 4年次初めにコースの学士・修士一貫教育トラックの選考に申込みをしていること。
- ③ 中国語圏の文化（文学、語学等）に強い関心と研究意欲を有する者。

〔英語圏・仏語圏言語文化学コース（仏語圏言語文化学専修）〕

本学に在籍し、2027年3月までに卒業見込である4年生で、以下の要件①から③を満たす者。
なお、2026年9月卒業見込者は含まない。

- ① 入学後に指導を希望する教員と、事前に必ずコンタクトをとること。
- ② 4年次初めに専修の学士・修士一貫教育トラックの選考に申込みをしていること。
- ③ 仏語圏の言語や文化に強い関心と研究意欲を持ち、仏語圏の言語や文化の研究に必要な基礎知識を有する者。

〔生活文化学コース〕

本学に在籍し、2027年3月までに卒業見込である4年生で、以下の要件①から③を満たす者。
なお、2026年9月卒業見込者は含まない。

- ① 入学後に指導を希望する教員と、事前に必ずコンタクトをとること。
- ② 3年次にコースの学士・修士一貫教育トラックの選考に申込みをしていること。
- ③ 民俗学、日本服飾史、西洋服飾史、比較文化論の四分野のうち、少なくとも二分野にわたり専門科目を四科目以上履修し、それらの成績が原則としてA又はこれと同等以上であること。

(2) 出願書類（1～7は全員提出。8, 9は該当コースのみ提出）

| | | |
|---|------------------------------|--|
| 1 | 志願者名票 写真票 | インターネット出願サイトで入力後、A4判の用紙にカラーで片面印刷したもの。 |
| 2 | 卒業見込証明書 | |
| 3 | 研究報告書 | 〔本学所定の用紙〕1, 600字程度の概要を提出すること。 |
| 4 | 研究計画書 | 〔本学所定の用紙〕今後の研究テーマ、目的及び方法等を記入したものを提出すること。 1, 600字程度の概要を提出すること。 |
| 5 | 成績証明書 | |
| 6 | 学士・修士一貫 教育トラック特 別選抜確認票 | 本学所定の様式に学部の指導教員またはこれに準ずる者が作成したものを提出すること。 |
| 7 | 検定料 | 30,000円 各種支払方法については30～33ページを参照 |

(該当コースのみ追加提出書類)

| | | |
|---|--|--|
| 8 | フランス語又はドイツ語の外部検定試験成績等証明書 (英語圏・仏語圏言語文化学コース(仏語圏言語文化専修)のみ) | 以下いずれかの成績証明書。 フランス語：DELFDALF, TCF, 仏検 ※TCFの場合は本学入学試験日において有効なものとする。 ドイツ語：Goethe Zertifikat (ゲーテ・ドイツ語検定), ÖSD (オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験), 独検 各々の成績証明書の提出方法に関しては、(注1)を参照すること。 |
| 9 | TOEFL又はIELTSのスコア票 (生活文化学コースのみ) | TOEFLのスコア票又はIELTSの成績証明書。受験日が本学入学試験日からさかのぼって2年以内を有効とする。 各々のスコア票の提出方法に関しては、(注2)を参照すること。 |

(注1) 【フランス語又はドイツ語の外部検定試験証明書の提出方法】

フランス語又はドイツ語の外部検定試験の資格又は成績を証明する書類は、原本とコピーを提出すること。直近の受験のため、照明書類が間に合わなかった場合に限り、受験を証明する書類(受験票の写しなど)又はOnline上のスコアプリントを提出し、2026年8月18日(火)までに必ず証明書類の原本とコピーを書留速達にて提出すること。
原本の返却を希望する場合は、所定額の郵便切手を貼付し、返送先を明記した封筒を必ず同封すること。封筒のサイズによっては証明書類が折られるため、原状のまま返却を希望する場合には封筒のサイズに注意すること。なお、本学入試課で原本証明することで当該出願書類に代えることができるので、出願前に申し出のうえ相談すること。

(注2) 【TOEFL スコア票の提出方法】

TOEFLテストのスコアは、TOEFL-iBTのスコアのみ有効とする。Home Edition版等自宅受験型のスコアは認められない。TOEFLのスコア票については、ETSアカウントからダウンロードできる受験者用スコアレポートで“120点満点のスコアが併記されたTest Taker Score Report”をA4判で印刷したものを提出すること。スコアの種類は、Test Dateスコアのみ有効とし、MyBestスコアは認められない。

【IELTS 成績証明書の提出方法】

IELTSテスト(コンピュータ版を含む)のスコアは、アカデミック・モジュールのスコアのみ有効とする。Indicator等自宅受験型のスコアは認められない。IELTSテストの成績証明書(Test Report Form-TRF)は、原本とコピーを提出すること。電子成績証明書(eTRF)の場合はA4判で印刷したものを提出すること。直近の受験のため、IELTSの成績証明書(TRF)の原本が間に合わなかった場合に限り、受験を証明する書類(受験票の写しなど)又はOnline上のスコアプリントを提出し、2026年7月24日(金)までに必ずIELTS成績証明書(TRF)の原本とコピーを書留速達にて提出すること。
原本の返却を希望する場合は、所定額の郵便切手を貼付し、返送先を明記した封筒を必ず同封すること。封筒のサイズによっては証明書類が折られるため、原状のまま返却を希望する場合には封筒のサイズに注意すること。なお、本学入試課で原本証明することで当該出願書類に代えることができるので、出願前に申し出のうえ相談すること。

(3) 選考方法

アジア言語文化学コース(推薦入試と同様)

| | |
|-------------|----------------|
| 試験日時 コース | 2026年9月7日(月) |
| アジア言語文化学 | 口述試験 10:00~ |
| (配点) | A・B・C・D |

英語圏・仏語圏言語文化学コース(仏語圏言語文化専修)(推薦入試と同様)

| | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|---|
| 試験日時 コース | | 2026年9月7日(月) |
| 英語圏・仏語圏 言語文化学 (仏語圏言語文化専修) | 外国語試験 本学の指定する外部外国語 検定試験の成績を利用 | 口述試験 10:00~ 卒業研究の内容及び今後の研究計画について口述する。試験 時間は20分程度である。 |
| (配点) | 外部外国語検定試験の成績 を100点満点に換算 | A・B・C |

生活文化学コース（推薦入試と同様）

| | | |
|-------------|------------------------|---|
| 試験日時 コース | | 2026年9月7日（月） |
| 生活文化学 | 外国語試験 | 口述試験 10：00～ |
| | 大学の指定する外部外国語検定試験の成績を利用 | 卒業研究の内容及び将来の研究等について口述する。発表は8分程度。発表要旨と参考文献一覧を記載した紙（分量は最大でA4サイズ4頁）を4部用意し、試験当日に持参すること。発表の際、PCプロジェクターを使用することができる（ただし、PCは自分のものを持参すること）。試験時間は発表・質疑応答を含めて30分程度である。 |
| （配点） | 外部外国語検定試験の成績を100点満点に換算 | A・B・C |

○ 人間発達科学専攻（9月入試）

| 実施コース | 募集人員 |
|--|------|
| 教育科学コース 心理学コース 応用社会学コース 保育・児童学コース | 若干名 |

(1) 出願資格

〔教育科学コース〕

本学に在籍し、2027年3月までに卒業見込である4年生で、以下の要件①から③を満たす者。
なお、2026年9月卒業見込者は含まない。

- ① 人間社会科学科教育科学プログラムを履修していること。
- ② 4年次初めに学士・修士一貫教育トラックの選考に申込みをしていること。
- ③ 外国語科目及び教育科学の概論・特殊講義の平均点がいずれも原則として80点以上であること（Sを95点、Aを85点、Bを75点、Cを65点と換算して算出）。ただし、外国語科目については、80点未満であっても、S又はA評価が4科目以上あれば可とする。

〔心理学コース〕

本学に在籍し、2027年3月までに卒業見込である4年生で、以下の要件①から②を満たす者。
なお、2026年9月卒業見込者は含まない。

- ① 生活科学部心理学科に所属していること。
- ② 学部3年次後期及び4年次前期に卒業論文指導教員と面談を行い、選抜受験の許可を得ていること。

〔応用社会学コース〕

本学に在籍し、2027年3月までに卒業見込である4年生で、以下の要件①から③を満たす者。
なお、2026年9月卒業見込者は含まない。

- ① 文教育学部人間社会科学科社会学主プログラムを選択していること。
- ② 3年次後期の一貫教育トラック選抜に合格した特別入試選抜の候補者であること。
- ③ 原則として、社会学科目（社会学総論、社会調査法Ⅰ・Ⅱ、社会学コースの専任教員が担当する演習科目（計8単位））の平均点が80点以上であること。

〔保育・児童学コース〕

本学に在籍し、2027年3月までに卒業見込である4年生で、以下の要件①から②を満たす者。
なお、2026年9月卒業見込者は含まない。

- ① 文教育学部人間社会科学科子ども学主プログラム又は生活科学部人間生活学科生活文化学主プログラムを履修していること。ただし、生活文化学主プログラム履修者については、民俗学、日本服飾史、西洋服飾史、比較文化論、保育学の五分野のうち、少なくとも保育学を含む二分野にわたり専門科目を四科目以上履修しそれらの成績が原則としてA又はこれと同等以上であること。
- ② 3年次終了までにコースの学士・修士一貫教育トラックの選考に申込みをしていること。

(2) 出願書類

| | | |
|---|------------------------------|---|
| 1 | 志願者名票 写真票 | インターネット出願サイトで入力後、A4判の用紙にカラーで片面印刷したもの。 |
| 2 | 卒業見込証明書 | |
| 3 | 研究報告書 (応用社会学コース を除く) | [本学所定の用紙] 1, 600字程度の概要を提出すること。 |
| 4 | 研究計画書 | [本学所定の用紙] 今後の研究テーマ、目的及び方法等を記入したものを提出すること。 1, 600字程度の概要を提出すること。 |
| 5 | 成績証明書 | |
| 6 | 学士・修士一貫 教育トラック特別 選抜確認票 | 本学所定の様式に学部の指導教員またはこれに準ずる者が作成したものを提出すること。 |
| 7 | 検定料 | 30,000円 各種支払方法については30~33ページを参照 |

(応用社会学コースのみ追加提出書類)

| | | |
|---|-------------------------|--|
| 8 | リサーチペーパー | これまでの研究成果をまとめたものを必ず 2部 提出すること。分量は6,000字以上とし、日本語で作成すること。(書式は自由、ただしA4判用紙を用いること。) |
| 9 | TOEFL 又は IELTS のスコア票 | TOEFL のスコア票又は IELTS の成績証明書。受験日が本学入学試験日からさかのぼって2年以内を有効とする。 各々のスコア票の提出方法に関しては、(注)を参照すること。 |

(注) 【TOEFL スコア票の提出方法】

TOEFL テストのスコアは、TOEFL-iBT のスコアのみ有効とする。Home Edition 版等自宅受験型のスコアは認められない。TOEFL のスコア票については、ETS アカウントからダウンロードできる受験者用スコアレポートで“120点満点のスコアが併記された Test Taker Score Report”をA4判で印刷したものを提出すること。スコアの種類の、Test Date スコアのみ有効とし、MyBest スコアは認められない。

【IELTS 成績証明書の提出方法】

IELTS テスト (コンピュータ版を含む) のスコアは、アカデミック・モジュール のスコアのみ有効とする。Indicator 等自宅受験型のスコアは認められない。IELTS テストの成績証明書 (Test Report Form-TRF) は、原本とコピーを提出すること。電子成績証明書 (eTRF) の場合はA4判で印刷したものを提出すること。直近の受験のため、IELTS の成績証明書 (TRF) の原本が間に合わなかった場合に限り、受験を証明する書類 (受験票の写しなど) 又は Online 上のスコアプリントを提出し、2026年7月24日(金)までに必ず IELTS 成績証明書 (TRF) の原本とコピーを書留速達にて提出すること。
原本の返却を希望する場合は、所定額の郵便切手を貼付し、返送先を明記した封筒を必ず同封すること。封筒のサイズによっては証明書類が折られるため、原状のまま返却を希望する場合には封筒のサイズに注意すること。なお、本学入試課で原本証明することで当該出願書類に代えることができるので、出願前に申し出のうえ相談すること。

(3) 選考方法 (コースによって試験日が異なるので、注意すること。)

教育科学コース

| | |
|-------------|----------------|
| 試験日時 コース | 2026年9月7日(月) |
| 教育科学 | 口述試験 10:00~ |
| (配点) | A・B・C・D |

心理学コース

| | | |
|-------------|--|----------------|
| 試験日時 コース | 2026年9月6日(日) | |
| 心 理 学 | 専門試験(外国語を含む) [辞書持込不可] 9:30~11:30 | 口述試験 13:00~ |
| | 英語。 内容は心理学、統計学、研究法等 | |
| (配点) | 200点 | A・B・C・D |

応用社会学コース

| | | |
|-------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 試験日時 コース | | 2026年9月6日(日) |
| 応 用 社 会 学 | 外国語試験 | 口述試験 13:30~ |
| | 本学指定の外部外国語検定試験の成績を提出(前頁(※)参照) | リサーチペーパーの内容及び研究計画等について口述する。 |
| (配点) | | A・B・C・D |

保育・児童学コース

| | | |
|-------------|---|-------------------------|
| 試験日時 コース | 2026年9月6日(日) | |
| 保 育 ・ 児 童 学 | 専門試験(外国語を含む) [辞書持込不可] 9:30~12:00 | 口述試験 13:30~ |
| | 英文読解及び保育学、児童学、発達心理学、社会学、教育学に関する論述問題(注1) | 卒業論文の内容及び研究計画等について口述する。 |
| (配点) | 200点 | A・B・C・D |

(注1) 保育・児童学コースのホームページを必ず参照すること。

(<https://www.dc.ocha.ac.jp/m/human/child-childcare/index.html>)

○ ジェンダー社会科学専攻 (9月入試)

| |
|------|
| 募集人員 |
| 若干名 |

(1) 出願資格

本学に在籍し、2027年3月までに卒業見込である4年生で、以下の要件①、②、③のいずれかを満たし、かつ、3年次に行われた学士・修士一貫教育トラックに関する内部選考に合格した者。

なお、2026年9月卒業見込者は含まない。

- ① 文教育学部人文科学科地理環境学主プログラムを履修していること。
- ② 文教育学部グローバル文化学主プログラムを履修していること。
- ③ 生活科学部人間生活学科生活社会科学主プログラムを履修していること。

(2) 出願書類

| | | |
|---|------------------------------|--|
| 1 | 志願者名票 写真票 | インターネット出願サイトで入力後、A4判の用紙にカラーで片面印刷したもの。 |
| 2 | 卒業見込証明書 | |
| 3 | リサーチペーパー | これまでの研究成果をまとめたものを2部提出すること。分量は6,000字以上、日本語で作成すること。 |
| 4 | 研究報告書 | [本学所定の用紙] 1,600字程度の概要を提出すること。 |
| 5 | 研究計画書 | [本学所定の用紙] 今後の研究テーマ、目的及び方法等を記入したものを提出すること。1,600字程度の概要を提出すること。 |
| 6 | 成績証明書 | |
| 7 | TOEFL 又は IELTS のスコア票 | TOEFL のスコア票又は IELTS の成績証明書。受験日が本学入学試験日からさかのぼって2年以内を有効とする。 各々のスコア票の提出方法に関しては、(注)を参照すること。 |
| 8 | 学士・修士一貫 教育トラック特別 選抜確認票 | 本学所定の様式に学部の指導教員またはこれに準ずる者が作成したものを提出すること。 |
| 9 | 検定料 | 30,000円 各種支払方法については30~33ページを参照 |

(注) 【TOEFL スコア票の提出方法】

TOEFL テストのスコアは、TOEFL-iBTのスコアのみ有効とする。Home Edition 版等自宅受験型のスコアは認められない。TOEFL のスコア票については、ETS アカウントからダウンロードできる受験者用スコアレポートで“120点満点のスコアが併記された Test Taker Score Report”をA4判で印刷したものを提出すること。スコアの種類の、Test Date スコアのみ有効とし、MyBest スコアは認められない。

【IELTS 成績証明書の提出方法】

IELTS テスト (コンピュータ版を含む) のスコアは、アカデミック・モジュールのスコアのみ有効とする。Indicator 等自宅受験型のスコアは認められない。IELTS テストの成績証明書 (Test Report Form-TRF) は、原本とコピーを提出すること。電子成績証明書 (e-TRF) の場合はA4判で印刷したものを提出すること。直近の受験のため、IELTS の成績証明書 (TRF) の原本が間に合わなかった場合に限り、受験を証明する書類 (受験票の写しなど) 又は Online 上のスコアプリントを提出し、2026年7月24日(金)までに必ず IELTS 成績証明書 (TRF) の原本とコピーを書留速達にて提出すること。
原本の返却を希望する場合は、所定額の郵便切手を貼付し、返送先を明記した封筒を必ず同封すること。封筒のサイズによっては証明書類が折られるため、原状のまま返却を希望する場合には封筒のサイズに注意すること。なお、本学入試課で原本証明することで当該出願書類に代えることができるので、出願前に申し出のうえ相談すること。

(3) 選考方法

| | | |
|-----------|-----------------------------|----------------|
| 専攻 | 試験日時 | 2026年9月6日(日) |
| ジェンダー社会科学 | 外国語試験 | 口述試験 13:00~ |
| | 本学指定の外部外国語検定試験の成績を提出(前頁※参照) | |
| (配点) | | A・B・C・D |

○ ライフサイエンス専攻 (8月入試)

| 実施コース | 募集人員 |
|---------|------|
| 生命科学コース | 若干名 |

(1) 出願資格

〔生命科学コース〕

本学理学部生物学科に在籍し、2027年3月までに卒業見込である4年生で、以下の要件を全て満たす者

- ① 入学後に指導を希望する教員と、事前にコンタクトをとっていること。
- ② 3年次、学士・修士一貫教育トラックの選考に申込みをしていること。
- ③ プレ卒研発表会において合格していること。
- ④ 下記に相当する科目のうち10科目以上を履修し、少なくとも6科目でA又はこれと同等以上の成績であること。

生化学、生物物理学、動物系統学、植物系統学、動物生理学、植物生理学、代謝生物学、基礎遺伝学、分子遺伝学、細胞生物学、発生生物学、進化生物学、生物統計学、動物生態学、植物生態学、細胞生化学、分子細胞情報学、生物系統地理学、進化遺伝学、発生遺伝学、バイオメカニクス、植物生理学、遺伝子工学、植物機能制御学、動物環境応答学、分子構造生物学、免疫学
 注) 科目が1単位ずつに分割されている場合は、分割両科目においてA又はこれと同等以上の成績であることをもって1科目とみなす。

(2) 出願書類

| | | |
|---|------------------------------|--|
| 1 | 志願者名票 写真票 | インターネット出願サイトで入力後、A4判の用紙にカラーで片面印刷したもの。 |
| 2 | 卒業見込証明書 | |
| 3 | 成績証明書 | |
| 4 | 学士・修士一貫 教育トラック特 別選抜確認票 | 本学所定の様式に学部の指導教員またはこれに準ずる者が作成したものを提出すること。 |
| 5 | 検定料 | 30,000円 各種支払方法については30~33ページを参照 |

(3) 選考方法

生命科学コース

| | | |
|------|----------------|------------|
| 試験日時 | 2026年8月1日(土) | |
| コース | 生命科学 | |
| 生命科学 | 口述試験 10:00~ | |
| (配点) | A・B・C・D | 口述試験のDは不合格 |

○ 理学専攻（8月入試）

| 実施コース | 募集人員 |
|-------------------------|------|
| 物理科学コース 化学・生物化学コース | 若干名 |

(1) 出願資格

〔物理科学コース〕

本学理学部物理学科に在籍し、2027年3月までに卒業見込である4年生で、3年次に行われた学士・修士一貫教育トラックに関する内部選考に合格している者

〔化学・生物化学コース〕

本学理学部化学学科に在籍し、2027年3月までに卒業見込である4年生で、以下の要件①及び②を満たす者

- ① 入学後に指導を希望する教員と、事前に必ずコンタクトをとること。
- ② 3年次、学士・修士一貫教育トラックの選考に申込みをしていること。

(2) 出願書類（1～5は全員提出。6は該当コースのみ提出。）

| | | |
|---|------------------------------|--|
| 1 | 志願者名票 写真票 | インターネット出願サイトで入力後、A4判の用紙にカラーで片面印刷したもの。 |
| 2 | 卒業見込証明書 | |
| 3 | 成績証明書 | |
| 4 | 学士・修士一貫 教育トラック特別 選抜確認票 | 本学所定の様式に学部の指導教員またはこれに準ずる者が作成したものを提出すること。 |
| 5 | 検定料 | 30,000円 各種支払方法については30～33ページを参照 |

（化学・生物化学コースのみ追加提出書類）

| | | |
|---|-------------------------|---|
| 6 | TOEIC 又は TOEFL のスコア票 | TOEIC 公開テスト (Listening & Reading Test) 又は TOEFL のスコア票。受験日が本学入学試験日からさかのぼって2年以内を有効とする。 各々のスコア票の提出方法に関しては、(注)を参照すること。 |
|---|-------------------------|---|

(注) 【TOEIC 又は TOEFL のスコア票の提出方法】

TOEIC テストのスコアは、TOEIC 公開テスト (Listening & Reading Test) のスコアのみ、有効とする。デジタル公式認定証 “Digital Official Score Certificate” を A4 判で印刷したものを提出すること。
TOEFL テストのスコアは、TOEFL-iBT のスコアのみ有効とする。Home Edition 版等自宅受験型のスコアは認められない。TOEFL のスコア票については、ETS アカウントからダウンロードできる受験者用スコアレポートで “120 点満点のスコアが併記された Test Taker Score Report” を A4 判で印刷したものを提出すること。スコアの種類の種類は、Test Date スコアのみ有効とし、MyBest スコアは認められない。

(3) 選考方法

物理科学コース

| | |
|------|----------------|
| 試験日時 | 2026年8月1日(土) |
| コース | |
| 物理科学 | 口述試験 13:30～ |
| (配点) | A・B・C |

(注) 口述試験では、研究内容・計画に関する10分間の発表を行い、その後に発表内容等に関する質疑を行う。発表は事前に準備し、発表に用いるパソコンは各自で持参すること。

化学・生物化学コース（一般入試と同様）

| 試験日時 コース | | 2026年8月1日（土） | 8月2日（日） |
|-------------|----------------------------|---|---------|
| 化学・ 生物化学 | 外国語試験 | 専門科目試験 （物理化学、無機化学、有機化学、 生物化学、分析化学の各分野から 1問ずつ、計5問出題、3問選択） | 口述試験 |
| | 本学の指定する外部外国語 検定試験の成績を利用 | 9：30～12：00 | 10：00～ |
| （配点） | 外部外国語検定試験の成績 を75点満点に換算 | 3問各100点 | A・B・C |
| | | 300点 | |

（注）電卓持込不可。

IV. 内部推薦特別入試

内部推薦特別入試

○ 比較社会文化学専攻 (9月入試)

| 実施コース | | | 募集人員 |
|----------|-------------|----------|------|
| 日本語教育コース | 舞踊・表現行動学コース | 音楽表現学コース | 若干名 |

(1) 出願資格

〔日本語教育コース〕

本学に在籍し、2027年3月までに卒業見込である4年生で、以下の要件①及び②を満たす者

- ① 入学後に指導を希望する教員と、早めにコンタクトをとり、指導を受けていること（できれば3年次からが望ましい。）
- ② 日本語教育副プログラムの科目を履修していること。

〔舞踊・表現行動学コース〕

本学文教育学部 芸術・表現行動学科に在籍し、2027年3月までに卒業見込である4年生で、以下の要件①から③を満たす者

- ① 入学後に指導を希望する教員と、事前に必ずコンタクトをとること。
- ② 舞踊教育学コースを履修していること。
- ③ 下記の科目について、16単位以上を履修し、そのうちの8単位以上がAまたはSの成績であること。
舞踊芸術学、民族舞踊学(1)、民族舞踊学(2)、臨床舞踊論、体育原理、動作学(1)、動作学(2)、舞踊芸術学実験演習(1)、舞踊芸術学実験演習(2)、民族舞踊学実験演習(1)、民族舞踊学実験演習(2)、臨床舞踊論実験演習(1)、臨床舞踊論実験演習(2)、動作学実験演習(1)、動作学実験演習(2)、スポーツ文化論演習(1)、スポーツ文化論演習(2)

〔音楽表現学コース〕

本学文教育学部 芸術・表現行動学科に在籍し、2026年3月までに卒業見込である4年生で、以下の要件①から③を満たす者

- ① 入学後に指導を希望する教員と、事前に必ずコンタクトをとること。
- ② 音楽表現コースを履修していること。
- ③ 入学後に希望する専門（音楽学・演奏学）により、下記の専門科目について履修し、それぞれの条件を満たしていること。

音楽学：学部1年次から3年次までに、下記の音楽学系科目から合わせて16単位以上を取得し、それらの成績が全てA以上、もしくはそれと同等の者。

音楽学概論、音楽学研究法、音楽学研究演習、音楽形式論、西洋音楽史Ⅰ、西洋音楽史Ⅱ、現代音楽Ⅰ、現代音楽Ⅱ、日本音楽史概論、民族音楽学

演奏学：下記の(1)又は(2)の条件を満たしていること。

- (1) 学部1年次から3年次までの実技科目（ピアノ：ピアノ基礎及びピアノⅠ～Ⅳ。声楽：声楽基礎及び声楽発展）の成績が全てA以上、もしくはそれと同等の者。
- (2) 上記の実技科目及び下記の演奏学系科目から併せて3年次終了までに24単位以上を取得し、取得単位数の3分の2以上がA以上の成績の者。
演奏学系科目：ピアノ研究演習、ピアノレパートリー研究、ピアノ特別演習、ピアノ演奏法研究、ピアノ合奏研究、歌曲研究、オペラ研究、演奏身体論、合唱演習、クリエイティブ・ミュージック・メイキング、室内楽研究

(2) 出願書類（1～7は全員提出、8、9は該当コースのみ提出）

| | | |
|---|--------------|---|
| 1 | 志願者名票 写真票 | インターネット出願サイトで入力後、A4判の用紙にカラーで片面印刷したもの。 |
| 2 | 卒業見込証明書 | |
| 3 | 成績証明書 | |
| 4 | 推薦書 | 本学所定の様式に学部の指導教員またはこれに準ずる者が作成したものを提出すること。 |
| 5 | 検定料 | 30,000円 各種支払方法については30～33ページを参照 |
| 6 | 研究報告書 | [本学所定の用紙] |
| 7 | 研究計画書 | [本学所定の用紙] 2,000字以内で、今後の研究テーマ、目的及び方法等を記入したものを提出すること。 |

(該当コースのみ追加提出書類)

| | | |
|---|--|--|
| 8 | 志望理由書 (日本語教育コースのみ) | [本学所定の用紙] |
| 9 | TOEFL 又は IELTS のスコア票 (舞踊・表現行動学コースのみ) | TOEFL のスコア票又は IELTS の成績証明書。受験日が本学入学試験日からさかのぼって2年以内を有効とする。 各々のスコア票の提出方法に関しては、(注)を参照すること。 |

(注) 【TOEFL スコア票の提出方法】

TOEFL テストのスコアは、TOEFL-iBT のスコアのみ有効とする。Home Edition 版等自宅受験型のスコアは認められない。TOEFL のスコア票については、ETS アカウントからダウンロードできる受験者用スコアレポートで“120点満点のスコアが併記された Test Taker Score Report”をA4判で印刷したものを提出すること。スコアの種類の、Test Date スコアのみ有効とし、MyBest スコアは認められない。

【IELTS 成績証明書の提出方法】

IELTS テスト (コンピュータ版を含む) のスコアは、アカデミック・モジュール のスコアのみ有効とする。Indicator 等自宅受験型のスコアは認められない。IELTS テストの成績証明書 (Test Report Form-TRF) は、原本とコピーを提出すること。電子成績証明書 (eTRF) の場合はA4判で印刷したものを提出すること。直近の受験のため、IELTS の成績証明書 (TRF) の原本が間に合わなかった場合に限り、受験を証明する書類 (受験票の写しなど) 又は Online 上のスコアプリントを提出し、2026年7月24日(金)までに必ず IELTS 成績証明書 (TRF) の原本とコピーを書留速達にて提出すること。
原本の返却を希望する場合は、所定額の郵便切手を貼付し、返送先を明記した封筒を必ず同封すること。封筒のサイズによっては証明書類が折られるため、原状のまま返却を希望する場合には封筒のサイズに注意すること。なお、本学入試課で原本証明することで当該出願書類に代えることができるので、出願前に申し出のうえ相談すること。

(3) 選考方法

日本語教育コース

| | |
|------|----------------|
| 試験日時 | 2026年9月7日(月) |
| コース | 口述試験 10:00～ |
| (配点) | A・B・C・D |

(注) 日本語教育コース推薦入試の合格者には、2月入試の専門試験、口述試験と同じ課題を受けてもらう。なお、詳しくは合格者に対してあらためてお知らせする。

舞踊・表現行動学コース

| | | |
|-------------|-------------------------------------|----------------|
| 試験日時 コース | | 2026年9月7日(月) |
| 舞踊・表現行動学 | 外国語試験 本学の指定する外部外国語 検定試験の成績を利用 | 口述試験 10:00～ |
| (配点) | 外部外国語検定試験の成績 を100点満点に換算 | A・B・C |

音楽表現学コース

| | | |
|-------------|--|----------------|
| 試験日時 コース | | 2026年9月7日(月) |
| 音楽表現学 | | 口述試験 10:00～ |
| (配点) | | A・B・C・D |

○ 理学専攻(8月入試)

| 実施コース | 募集人員 |
|---------------|------|
| 数学コース 情報科学コース | 若干名 |

(1) 出願資格

〔数学コース〕

本学理学部数学科に在籍し、2027年3月までに卒業見込である4年生で、以下の要件①及び②を満たす者

- ① 入学後に指導を希望する教員と、事前に必ずコンタクトをとること。
- ② 数学科主プログラム、強化プログラムとして開講されている下記の科目について、20科目以上がAまたはSの成績またはそれに相当する成績であること。

微分積分学1、微分積分学2、微分積分学3、微分積分学4、微分積分学5、微分積分学6、
線形代数学1、線形代数学2、線形代数学3、線形代数学4、線形代数学5、線形代数学6、
集合論1、集合論2、集合論3、ベクトル解析、位相空間論1、位相空間論2、群論1、群論2、
環論、体論、関数論1、関数論2、多様体論1、多様体論2、積分論1、積分論2、
数理解析序論、数学輪講

〔情報科学コース〕

本学理学部情報科学科に在籍し、2027年3月までに卒業見込である4年生で、以下の要件①から②を満たす者

- ① 入学後に指導を希望する教員からの承諾を受けていること。
- ② 3年次に行われた内部選考で内部推薦対象者になっていること。

(2) 出願書類 (1～5は全員提出、6、7は情報科学コースのみ提出)

| | | |
|---|--------------|--|
| 1 | 志願者名票 写真票 | インターネット出願サイトで入力後、A4判の用紙にカラーで片面印刷したもの。 |
| 2 | 卒業見込証明書 | |
| 3 | 成績証明書 | |
| 4 | 推薦書 | 本学所定の様式に学部の指導教員またはこれに準ずる者が作成したものを提出すること。 |

| | | |
|---|-------|-----------------------------------|
| 5 | 検 定 料 | 30,000円 各種支払方法については30~33ページを参照 |
|---|-------|-----------------------------------|

(情報科学コースのみ追加提出書類)

| | | |
|---|-----------|---|
| 6 | 研 究 報 告 書 | [本学所定の用紙] 1, 600字程度の概要を提出すること。 |
| 7 | 研 究 計 画 書 | [本学所定の用紙] 今後の研究テーマ、目的及び方法等を1, 600字程度で記入したものを提出すること。 |

(3) 選考方法

数学コース

| | |
|---------|----------------|
| 試験日時 | 2026年8月1日(土) |
| コース | |
| 数 学 | 口述試験 13:00~ |
| (配 点) | A・B・C・D |

(注) 「数A・数B・数C」の区分に関する希望順位(1~3)を記入すること。

| | | |
|----------|----------|-------------|
| [数A] 教 授 | 竹村 剛一 | 可積分系、特殊関数 |
| 准教授 | 久保 隆徹 | 偏微分方程式論 |
| 〃 | 千葉 優作 | 多変数複素関数論 |
| 〃 | 篠田 万穂 | 力学系、エルゴード理論 |
| [数B] 教 授 | 横川 光司 | 代数幾何 |
| 〃 | 萩田 真理子 | 組合せ論、暗号理論 |
| 准教授 | ツァン シンイー | 群論、代数的整数論 |
| [数C] 教 授 | 下川 航也 | 位相幾何学 |
| 准教授 | 戸田 正人 | 幾何解析 |
| 〃 | 大場 清 | 位相幾何学 |
| 講 師 | 植木 潤 | 数論的位相幾何学 |

情報科学コース

| | |
|---------|---------------|
| 試験日時 | 2026年8月1日(土) |
| コース | |
| 情 報 科 学 | 口述試験 9:30~ |
| (配 点) | A・B・C・D |

(注1) 口述試験の中で、専門科目に関する内容も問う。

(注2) 教員免許の「情報」「数学」専修免許状のどちらを取得できるかは、選択する指導教員により決まるので、希望者は事前に確認しておくこと。

○ 共創工学専攻 (8月入試)

| |
|------|
| 募集人員 |
| 若干名 |

(1) 出願資格

本学生活科学部人間・環境科学科に在籍している者、または、本学に在籍し、かつ、共創工学部教員の卒論指導を受けている者で、2027年3月までに卒業見込みである4年生のうち、以下の要件を満たす者

- ① 入学後に指導を希望する教員からの承諾を、事前に受けていること
- ② 3年次に行われた内部推薦対象者になっていること

(2) 出願書類

| | | |
|---|-----------------------|--|
| 1 | 志願者名票 写真票 | インターネット出願サイトで入力後、A4判の用紙にカラーで片面印刷したもの。 |
| 2 | 卒業見込証明書 | |
| 3 | 成績証明書 | |
| 4 | 推薦書 | 本学所定の様式に学部の指導教員またはこれに準ずる者が作成したものを提出すること。 |
| 5 | 検定料 | 30,000円 各種支払方法については30~33ページを参照 |
| 6 | TOEIC又はTOEFL のスコア票 | TOEIC公開テスト(Listening & Reading Test)又はTOEFLのスコア票。受験日が本学入学試験日からさかのぼって2年以内を有効とする。 各々のスコア票の提出方法に関しては、(注)を参照すること。 |

(注) 【TOEIC又はTOEFLのスコア票の提出方法】

TOEICテストのスコアは、TOEIC公開テスト(Listening & Reading Test)のスコアのみ、有効とする。デジタル公式認定証“Digital Official Score Certificate”をA4判で印刷したものを提出すること。
TOEFLテストのスコアは、TOEFL-iBTのスコアのみ有効とする。Home Edition版等自宅受験型のスコアは認められない。TOEFLのスコア票については、ETSアカウントからダウンロードできる受験者用スコアレポートで“120点満点のスコアが併記されたTest Taker Score Report”をA4判で印刷したものを提出すること。スコアの種類は、Test Dateスコアのみ有効とし、MyBestスコアは認められない。

(3) 選考方法

| | | | |
|--------|---------|----------------|--|
| 専攻 | 試験日時 | 2026年8月1日(土) | |
| 共創工学専攻 | | 口述試験 11:30~ | |
| (配点) | A・B・C・D | 口述試験のDは不合格 | |

(注) 次の表の希望する専門科目の記号 A～Eの中から1つ選んで、入学願書に記入すること。

指導体制（主指導教員）については、指導希望教員への事前相談の際に問い合わせること。

| 記号 | 専門科目 | 専門分野 | 担当教員 |
|----|-----------|---|---|
| A | 人間工学 | 人間医工学、福祉工学、健康工学 自然人類学、第四紀研究、人体計測学、生活環境史 生命情報、生物物理学 行動評価、生体工学 | 教授 太田 裕治 教授 近藤 恵 教授 由良 敬 准教授 Tripette Julien |
| B | 環境学、機能材料学 | 浄水処理、下水処理、消毒、水需給予測 生体高分子、ハイドロゲル 機能性高分子、材料物性学、生活材料物性、機能性繊維 | 教授 大瀧 雅寛 准教授 秋元 文 助教 雨宮 敏子 |
| C | 建築学 | 建築計画、建築人間工学、健康住宅、環境心理学 建築意匠、西洋建築史 建築環境工学、都市気候、風工学 都市・建築デザイン、デザイン工学 | 教授 長澤 夏子 准教授 片桐 悠自 准教授 河合 英徳 准教授 藤山 真美子 |
| D | 情報工学 | 情報可視化、マルチメディア マルチメディア、情報ネットワーク データベース、インターネット工学、データ管理 情報工学、ヒューマンコンピュータインタラクション、計算機工学 | 教授 伊藤 貴之 教授 小口 正人 准教授 LE Hieu Hanh 講師 土田 修平 |
| E | 人文科学 | 都市地理学、福祉地理学、地理情報システム (GIS) 中国語学、意味論、形式言語学 テキストアナリティクス、データサイエンス 現代英米哲学、認知科学、AI の学際研究 | 教授 宮澤 仁 教授 伊藤 さとみ 准教授 土山 玄 助教 佐藤 有理 |

V. 担当教員及び主な授業科目

○各教員の連絡先等は、本学ホームページ

(URL: <https://www.ao.ocha.ac.jp/information/kyouin/index.html>) を参照してください。

(注1) *印の教員は、2028年3月31日付で退職予定である。また、**印の教員は、主任指導教員として志望できない。

(注2) 2027年3月31日付で退職予定の教員は記載されていない。

比較社会文化学専攻

2026年6月1日現在

| 担当教員 | Position | Name | 主な授業科目 | Main Subject | 研究テーマ又は研究分野 |
|--|-----------------|-------------------|--------------|--|------------------------|
| アジア言語文化学コース Asian Languages, Literatures, and Cultures | | | | | |
| 教授 伊藤 さとみ | Prof. | ITO Satomi | 中国言語表現論演習 | Chinese Linguistics | 現代中国語文法 |
| 准教授 橋本 陽介 | Associate Prof. | HASHIMOTO Yosuke | 近代中国語圏文学特論 | Chinese Literature 3 | 中国現代文学 |
| 〃 富 嘉吟 | Associate Prof. | FU Kagin | 中国古典文献学 | Classical Chinese Philology | 中国古典文学 |
| 助教 **平澤 歩 | Assistant Prof. | HIRASAWA Ayumu | 中国古典文学思想論 | Chinese Literary Thought | 中国古典思想 |
| 英語圏・仏語圏言語文化学コース English and French Languages, Literatures, and Cultures | | | | | |
| 教授 小松 祐子 | Prof. | KOMATSU Sachiko | 仏語圏比較文化論 | Francophone Cultures | 仏語圏言語文化論・フランス語教育学 |
| 〃 田中 琢三 | Prof. | TANAKA Takuzo | 近代仏文学特論 | Modern French Literature, Advanced | フランス近代文学 |
| 日本語教育コース Japanese as a Second Language Education | | | | | |
| 教授 西川 朋美 | Prof. | NISHIKAWA Tomomi | 言語学習論特論 | Advanced Lectures in Language Learning Research | 第二言語習得(子どもと大人) |
| 准教授 西坂 祥平 | Associate Prof. | NISHIZAKA Shohei | 日本語教育学特論 | Teaching Japanese as a Second Language, Advanced | 日本語教育学 |
| 講師 李 址遠 | Lecturer | LEE Jiwon | 社会言語学研究特論 | Sociolinguistics Research, Advanced | 言語人類学、社会言語学 |
| 生活文化学コース Cultural and Historical Studies | | | | | |
| 教授 鈴木 禎宏 | Prof. | SUZUKI Sadahiro | 比較文化特論 | Comparative Study of Culture | 日英近代文化史(工芸を中心として) |
| 〃 新實 五穂 | Prof. | NIIMI Iho | 西洋服飾文化論 | Cultural Study of Western Costume | 西洋服飾論 |
| 〃 宮内 貴久 | Prof. | MIYAUCHI Takahisa | 民俗文化論特論 | Special Lecture for Cultural Study of Folk | 民俗学、文化人類学 |
| 准教授 難波 知子 | Associate Prof. | NAMBA Tomoko | 日本服飾文化論 | Cultural Study of Japanese Costume | 日本服飾史、学校制服史 |
| 舞踊・表現行動学コース Dance | | | | | |
| 教授 水村 真由美 | Prof. | MIZUMURA Mayumi | 表現行動科学実験演習 | Practice on Behavioristics for Expression Movement | 身体運動科学(運動生理学・バイオメカニクス) |
| 准教授 岡 千春 | Associate Prof. | OKA Chiharu | 舞踊表現学特論 | Advanced Theory of Dance Expression | 舞踊教育学・舞踊表現学 |
| 〃 中村 美奈子 | Associate Prof. | NAKAMURA Minako | 民族舞踊学特論 | Advanced Theory of Dance Ethnology | 民族舞踊の動作分析法および記譜法の研究 |
| 助教 福本 まあや | Assistant Prof. | FUKUMOTO Maaya | 舞踊芸術学特論 | Advanced Theory of Dance and the Arts | 舞踊学・舞踊芸術学・ソマティクス |
| 音楽表現学コース Music | | | | | |
| 教授 井上 登喜子 | Prof. | INOUE Tokiko | 音楽文化史研究 | Cultural History of Music | 音楽学、音楽文化史(近代)、実証音楽学 |
| 〃 *小坂 圭太 | Prof. | KOSAKA Keita | ピアノ演奏学特論(近代) | Piano Performance Special Studies (Modern) | ピアノ演奏法 |
| 助教 **神保 夏子 | Assistant Prof. | JIMBO Natsuko | 音楽学特論 | New Perspectives of Musicology | 音楽学、演奏文化史、近代フランス音楽史 |

人間発達科学専攻

2026年6月1日現在

| 担当教員 | Position | Name | 主な授業科目 | Main Subject | 研究テーマ又は研究分野 |
|-----------------------------------|-----------------|-------------------|-------------|--|-------------------------|
| 教育学コース Educational Science | | | | | |
| 教授 大和多 直樹 | Prof. | OTAWA Naoki | 教育社会学 | Sociology of Education | 中等教育研究、生徒文化論、メディアと教育 |
| 〃 浜野 隆 | Prof. | HAMANO Takashi | 教育開発論特論(理論) | Theory of Educational Development | 教育開発論、国際教育協力論、比較教育 |
| 〃 富士原 紀絵 | Prof. | FUJIWARA Kie | 教育方法学(理論) | Study of educational methodology and curriculum | 教育課程・教育方法に関する研究 |
| 准教授 齊藤 彩 | Associate Prof. | SAITO Aya | 特別支援教育特論 | Advanced Topics in Special Needs Education | 特別支援教育、障害児教育、障害児心理学 |
| 〃 武藤 世良 | Associate Prof. | MUTO Sera | 教育心理学(理論) | Theory of Educational Psychology | 教育心理学、発達心理学、感情心理学 |
| 助教 **渡邊 真之 | Assistant Prof. | WATANABE Masayuki | 近代教育史 | History of Education Before World War II | 教育史 |
| 心理学コース Psychology | | | | | |
| 教授 上原 泉 | Prof. | UEHARA Izumi | 発達心理学特論 | Advanced Developmental Psychology | 発達心理学、認知心理学 |
| 〃 大森 美香 | Prof. | OMORI Mika | 健康心理学特論 | Current Issues in Health Psychology | 臨床心理学。特に健康心理学 |
| 〃 坂元 章 | Prof. | SAKAMOTO Akira | 社会心理学特論(理論) | Social Psychology (Theory) | 社会心理学。メディアの影響など |
| 准教授 伊藤 大幸 | Associate Prof. | ITO Hiroyuki | 人格発達論 | Theory and Method of Personality Development | 教育心理学、発達心理学、心理計量学 |
| 〃 今泉 修 | Associate Prof. | IMAIZUMI Shu | 認知科学基礎論 | Cognitive Science | 認知心理学、実験心理学 |
| 応用社会学コース Applied Sociology | | | | | |
| 教授 杉野 勇 | Prof. | SUGINO Isamu | 社会集団論 | Studies in Social Groups | 法社会学、理論社会学、社会調査法 |
| 准教授 **宝月 理恵 | Associate Prof. | HOGETSU Rie | 社会意識論 | Social Consciousness | 医療社会学、歴史社会学、近代家族論 |
| 〃 三宅 雄大 | Associate Prof. | MIYAKE Yudai | 社会政策論 | Social Policy | 社会政策、社会保障、福祉社会学 |
| 助教 **Iris Isсен | Assistant Prof. | ISSEN Iris | 文化社会学論 | Problems in Culture and Society | 社会学(現代メディア研究、文化社会学) |
| 保育・児童学コース Child Studies | | | | | |
| 教授 刑部 育子 | Prof. | GYOBU Ikuko | 保育実践論特論 | Early Childhood Care and Education: Theories of Practice I | 幼児教育学、発達心理学 |
| 〃 西 隆太郎 | Prof. | NISHI Ryutaro | 保育学特論 | Study on Early Childhood Care and Education I | 保育学、臨床心理学 |
| 准教授 辻谷 真知子 | Associate Prof. | TSUJITANI Machiko | 子ども発達論特論 | Child Development I | 保育学、発達心理学、教育心理学 |
| 講師 松島 のり子 | Lecturer | MATSUSHIMA Noriko | 保育制度論特論 | Social System of Early Childhood Education and Care I | 保育制度・政策史、子どもの環境 |
| 助教 **光橋 翠 | Assistant Prof. | MITSUHASHI Midori | 幼児教育学特論 | Early Childhood Education and Care | 幼児教育学、サステナビリティ教育、子どもと社会 |

ジェンダー社会科学研究専攻

2026年6月1日現在

| 担当教員 | Position | Name | 主な授業科目 | Main Subject | 研究テーマ又は研究分野 |
|----------------|-----------------|----------------------|------------------------|--|----------------------------|
| 教授 大森 正博 | Prof. | OMORI Masahiro | 消費者問題論 | Health Economics, Public Economics and Industrial Organization | 医療・介護、社会保障の経済分析 |
| 〃 倉光 ミナ子 | Prof. | KURAMITSU Minako | 社会地理学特論 | Social and Cultural Geography | 人文地理学、オセアニア地域研究 |
| 〃 小谷 眞男 | Prof. | KOTANI Masao | 生活法社会学論、トランス・サイエンス論 | Society and Law | 比較法社会学史、トランス・サイエンス論 |
| 〃 斎藤 悦子 | Prof. | SAITO Etsuko | 生活経済論 | Household Economics, Family Resource Management | 家事労働の社会化、企業の社会的責任 |
| 〃 申 琪榮 | Prof. | SHIN Ki-young | フェミニズム理論の争点、ジェンダー立法過程論 | Issues in Feminist Theories, Gender & Politics | 比較政治学、ジェンダーと政治 |
| 〃 西村 純子 | Prof. | NISHIMURA Junko | 家族関係論 | Family Sociology | 家族と仕事の社会学 |
| 〃 長谷川 直子 | Prof. | HASEGAWA Naoko | 自然地理学特論 | Physical Geography | 自然地理学、地理の一般普及 |
| 〃 宮澤 仁 | Prof. | MIYAZAWA Hitoshi | 地理情報論 | Geographical Information | 福祉の地理学、GIS、都市地理学 |
| 准教授 大橋 忠恵 | Associate Prof. | OHASHI Fumie | ジェンダー-社会経済学 | Gender and Social Economics | フェミニスト政治経済学、国際社会学、移動とジェンダー |
| 〃 キャロル・マイルズ | Associate Prof. | CARROLL Myles | 現代政治経済論 | Contemporary Political Economy | 先進国における政治経済秩序と統括関係 |
| 〃 **申 知燕 | Associate Prof. | SHIN Jiyeon | 地域経済論 | Regional Economy | 人文地理学、移民研究 |
| 〃 デ・アウカンタ・マルセロ | Associate Prof. | DE ALCANTARA Marcelo | 法女性論 | Family Law | 家族法、生殖補助医療と法 |
| 〃 豊福 実紀 | Associate Prof. | TOYOFUKU Miki | 生活政治論 | Politics and Society | 政治学、公共政策 |
| 〃 脇田 彩 | Associate Prof. | WAKITA Aya | 生活福祉論 | Human Life and Social Welfare | 社会調査法、社会階層論 |
| 講師 王 一瓊 | Lecturer | WANG Yiqiong | 多文化コミュニケーション | Intercultural Communication | 社会言語学、多文化共生論 |
| 助教 **大森 優美 | Assistant Prof. | OMORI Yumi | 研究方法論コースワーク(質的調査法) | Qualitative Research | 平和研究 |
| 〃 **小前 和智 | Assistant Prof. | KOMAE Kazutomo | 労働と社会政策 | Labor Economics and Social Policy | 労働経済学 |

ライフサイエンス専攻

2026年6月1日現在

| 担当教員 | Position | Name | 主な授業科目 | Main Subject | 研究テーマ又は研究分野 |
|------------------------------------|----------|--------------------------------|-------------|---|------------------------|
| 生命科学コース Biological Sciences | | | | | |
| 教授 | 植村 知博 | Prof. UEMURA Tomohiro | 植物細胞生物学 | Plant Cell Biology | 植物オルガネラの動態と生理機能の研究 |
| " | 清本 正人 | Prof. KIYOMOTO Masato | 海洋生物学特論 | Marine Biology | 海産動物の発生生物学、形態形成と細胞分化 |
| " | 冨田 智 | Prof. SHIMADA Satoshi | 植物系統進化学 | Plant Systematics | 多様性生物学-海洋植物の場合 |
| " | 服田 昌之 | Prof. HATTA Masayuki | 進化発生学特論 | Evolutionary and Developmental Biology | サンゴを中心とした動物進化と生活史の研究 |
| " | 由良 敬 | Prof. YURA Kei | 生命情報学特論 | Special Lectures on Computational Biology | ゲノム・プロテオームの計算生物学研究 |
| 准教授 | 岩崎 貴也 | Associate Prof. IWASAKI Takaya | 植物保全生態学 | Plant Conservation Ecology | 陸上植物の多様性生物学・保全生態学 |
| " | 近藤 るみ | Associate Prof. KONDO Rumi | 集団遺伝学 | Population Genetics | ショウジョウバエを用いた進化・多様性研究 |
| " | 佐藤 敦子 | Associate Prof. SATO Atsuko | 進化発生学特論 | Evolutional impact on development and evolution | 発生・進化における環境の影響 |
| " | 柴 小菊 | Associate Prof. SHIBA Kogiku | 分子細胞生物学(動物) | Molecular cell biology (Animal) | 精子鞭毛や繊毛の運動調節に関する研究 |
| " | **伊藤 容子 | Lecturer ITO Yoko | 植物関連生理学 | Plant Physiology | 植物オルガネラの形成・維持機構と膜交通の研究 |
| 助教 | **毛内 拓 | Assistant Prof. MONAI Hiromu | 細胞生理学 | Cell Physiology | 脳・神経組織の生理機能 |

理学専攻

2026年6月1日現在

| 担当教員 | Position | Name | 主な授業科目 | Main Subject | 研究テーマ又は研究分野 |
|--------------------------|----------|-------------------------------|----------|---------------------------------------|-------------|
| 数学コース Mathematics | | | | | |
| 教授 | 下川 航也 | Prof. SHIMOKAWA Koya | 多様体構造特論 | Theory of Manifolds | 位相幾何学 |
| " | 竹村 剛一 | Prof. TAKEMURA Kouichi | 関数方程式特論 | Functional Equation | 可積分系、特殊関数 |
| " | 萩田 真理子 | Prof. HAGITA Mariko | 代数構造特論 | Algebraic Structures | 組合せ論、暗号理論 |
| " | 横川 光司 | Prof. YOKOGAWA Koji | 代数幾何学特論 | Algebraic Geometry | 代数幾何 |
| 准教授 | *大場 清 | Associate Prof. OHBA Kiyoshi | 幾何構造特論 | Theory of Geometric Structures | 位相幾何学 |
| " | 久保 隆徹 | Associate Prof. KUBO Takayuki | 関数解析特論 | Advanced Functional Analysis | 偏微分方程式論 |
| " | 篠田 万穂 | Associate Prof. SHINODA Mao | 確率解析特論 | Stochastic Analysis | 力学系、エルゴード理論 |
| " | 千葉 優作 | Associate Prof. TIBA Yusaku | 複素解析学特論 | Complex Analysis in Several Variables | 多変数複素関数論 |
| " | ツァン シンイー | Associate Prof. TSANG Sin Yi | 群論特論 | Advanced Group Theory | 群論、代数的整数論 |
| " | 戸田 正人 | Associate Prof. TODA Masahito | 微分幾何学特論 | Advanced Differential Geometry | 幾何解析 |
| 講師 | *植木 潤 | Lecturer UEKI Jun | 結び目と素数特論 | Theory of knots and prime numbers | 数論的位相幾何学 |

物理科学コース Physics

| | | | | | |
|-----|--------|----------------------------------|-------------|--|---------------------|
| 教授 | 奥村 剛 | Prof. OKUMURA Ko | ソフトマター物理学特論 | Advanced Soft Matter Physics | ソフトマター物理・化学物理 |
| " | 河野 能知 | Prof. KONO Takanori | 高エネルギー物理学特論 | Advanced High Energy Physics | 素粒子物理学実験 |
| " | *小林 功佳 | Prof. KOBAYASHI Katsuyoshi | 表面物理特論 | Advanced Surface Physics | 表面物理学・ナノ構造の物理 |
| " | 曹 基哲 | Prof. CHO Gi-Chol | 場の理論特論 | Advanced Field Theory | 素粒子物理学理論 |
| " | 出口 哲生 | Prof. DEGUCHI Tetsuo | 数理物理学特論 | Topics in Mathematical Physics | 数理解物理・物性基礎論・高分子統計力学 |
| " | 古川 はづき | Prof. FURUKAWA Hazuki | 強相関電子特論 | Advanced Strongly Correlated Electrons | 強相関電子系の中性子散乱 |
| 准教授 | 北島 佐知子 | Associate Prof. KITAJIMA Sachiko | 量子物理学特論 | Advanced Quantum Physics | 量子情報・非平衡統計力学 |
| " | 左石田 稔 | Associate Prof. SODA Minoru | 磁性体特論 | Advanced Magnetism | 固体物性実験 |
| 講師 | 赤城 裕 | Lecturer AKAGI Yutaka | 統計力学特論 | Advanced Statistical Mechanics | 物性物理学(理論) |
| " | **高橋 遼 | Lecturer TAKAHASHI Ryo | スピン物性特論 | Spintronics | スピントロニクス |
| " | 藤田 智弘 | Lecturer FUJITA Tomohiro | 宇宙物理学特論 | Advanced Cosmology | 宇宙物理学 |

化学・生物化学コース Chemistry and Biochemistry

| | | | | | |
|-----|----------|----------------------------------|--------------|--------------------------------------|-------------------------|
| 教授 | 相川 京子 | Prof. AIKAWA Kyoko | 糖鎖科学 | Glycobiology | 糖鎖生物学・細胞生化学・タンパク質科学 |
| " | 近藤 敏啓 | Prof. KONDO Toshihiro | 電気化学特論 | Electrochemistry | 電気化学・ナノ界面化学・自己組織化 |
| " | 棚谷 綾 | Prof. TANATANI Aya | 超分子化学特論 | Supramolecular Chemistry | 医薬化学・有機構造化学 |
| " | 宮崎 充彦 | Prof. MIYAZAKI Mitsuhiro | 分子分光化学特論 | Physical Chemistry and Spectroscopy | 分子分光学・反応ダイナミクス |
| " | 矢島 知子 | Prof. YAJIMA Tomoko | 有機反応化学 | Organic Reaction Mechanism | 立体的有機合成、含フッ素有機化合物の合成と応用 |
| 准教授 | 伊村 くらら | Associate Prof. IMURA Clara | 界面化学特論 | Colloid and Interface | ナノ材料化学、機能性物質、コロイド・界面化学 |
| " | 大金 賢司 | Associate Prof. OHGANE Kenji | ケミカルバイオロジー特論 | Chemical Biology | ケミカルバイオロジー |
| " | 桑原 拓也 | Associate Prof. KUWABARA Takuya | 有機典型元素化学特論 | Main Group Chemistry | 有機典型元素化学・有機金属化学 |
| " | 近松 彰 | Associate Prof. CHIKAMATSU Akira | 固体化学特論 | Physical Chemistry of Solids | 固体物理化学・固体反応化学・機能材料化学 |
| " | 三宅 亮介 | Associate Prof. MIYAKE Ryosuke | 錯体化学特論 | Advanced Coordination Chemistry | 錯体化学、生物無機化学 |
| 講師 | **平野 泰弘 | Lecturer HIRANO Yasuhiro | 生体分子間相互作用特論 | Mechanism of Biomolecule Interaction | 分子生物化学、バイオイメージング |
| 助教 | **黒木 菜保子 | Assistant Prof. KUROKI Nahoko | 物性理論化学特論 | Theoretical Physical Chemistry | 理論化学、計算化学、溶液物性化学 |

理学専攻

2024年6月1日現在

| 担当教員 | Position | Name | 主な授業科目 | Main Subject | 研究テーマ又は研究分野 |
|---------------------------------|-----------------------|---------------------------------------|-----------------|---|-----------------------------|
| 情報科学コース Computer Science | | | | | |
| 教授 | 浅井 健一 | Prof. ASAI Kenichi | 計算機言語特論 | Advanced Lecture on Computer Language | プログラミング言語 |
| " | 伊藤 貴之 | Prof. ITOH Takayuki | メディアコンピューティング特論 | Advanced Topics in Media Computing | 情報可視化・マルチメディア |
| " | 小口 正人 | Prof. OGUCHI Masato | コンピュータネットワーク特論 | Advanced Computer Networks | ネットワークコンピューティング・データ工学 |
| " | 工藤 和恵 | Prof. KUDO Kazue | 量子コンピューティング特論 | Advanced Topics on Quantum Computing | 量子コンピューティング・統計力学 |
| " | 小林 一郎 | Prof. KOBAYASHI Ichiro | 言語情報処理特論 | Language Information Processing | 言語情報処理、知能情報処理 |
| " | 戸次 大介 | Prof. BEKKI Daisuke | 数理科学特論 | Advanced Course in Mathematical Science | 数理言語学・計算言語学 |
| 准教授 | 五十嵐 悠紀 | Associate Prof. IGARASHI Yuki | ヒューマンインターフェース特論 | Advanced Human Interface | ヒューマンコンピュータインタラクション・グラフィックス |
| " | Nathanael Aubert-Kato | Associate Prof. Nathanael Aubert-Kato | 非従来型計算特論 | Advanced Unconventional Computing | DNAコンピューティング・最適化 |
| " | 桑名 杏奈 | Associate Prof. KUWANA Anna | 数値流体力学特論 | Advanced Computational Fluid Dynamics | 数値流体力学 |
| " | 坂田 綾香 | Associate Prof. SAKATA Ayaka | 非線形数理特論 | Advanced Topics on Nonlinear Science | 統計的機械学習・統計物理 |
| " | 長尾 篤樹 | Associate Prof. NAGAO Atsuki | アルゴリズム論特論 | Advanced Theory of Algorithms | 計算量理論・分散最適化 |
| " | LE Hieu Hanh | Associate Prof. LE Hieu Hanh | データベース特論 | Advanced Database | データ工学・情報ストレージシステム |
| 講師 | 神山 翼 | Lecturer KOHYAMA Tsubasa | 気象情報解析特論 | Advanced Meteorological Data Analytics | 気象学・物理気候学・大気海洋データ解析 |
| " | **室屋 晃子 | Lecturer MUROYA Koko | 抽象数学特論 | Advanced abstract mathematics | プログラミング言語理論・プログラム意味論 |

| 担当教員 | Position | Name | 主な授業科目 | Main Subject | 研究テーマ又は研究分野 |
|----------------|-----------------|------------------|-----------------------|---|--------------------------------|
| 教授 伊藤 さとみ | Prof. | ITO Satomi | 言語科学特論 | Advanced Language Science | 現代中国語文法 |
| 〃 *太田 裕治 | Prof. | OHTA Yuji | 共創工学概論 | Seminar on Transdisciplinary Engineering | 福祉工学、医用工学、生活支援機器開発 |
| 〃 大瀧 雅寛 | Prof. | OTAKI Masahiro | 水環境工学特論 | Advanced Water Environmental Engineering | 環境工学、水処理技術、水中健康関連微生物 |
| 〃 近藤 恵 | Prof. | KONDO Megumi | 第四紀学特論 | Advanced Quaternary Research | 自然人類学、人体計測学、文化財科学 |
| 〃 長澤 夏子 | Prof. | NAGASAWA Natsuko | 建築人間工学特論 | Advanced Ergonomics in Architecture | 建築計画、建築人間工学、健康住宅、環境心理 |
| 〃 宮澤 仁 | Prof. | MIYAZAWA Hitoshi | 地理情報科学 | Geographic Information Science | 福祉の地理学、GIS、都市地理学 |
| 准教授 秋元 文 | Associate Prof. | AKIMOTO Aya | バイオマテリアル特論 | Advanced Biomaterials Science | 生体材料工学、高分子材料工学 |
| 〃 片桐 悠自 | Associate Prof. | KATAGIRI Yuji | 建築意匠特論 | Advanced Architectural Design Theory | 建築意匠、西洋建築史 |
| 〃 河合 英徳 | Associate Prof. | KAWAI Hidenori | 建築環境工学特論 | Building Environmental Engineering, Advanced Course | 建築環境工学、都市気候、風工学 |
| 〃 **土山 玄 | Associate Prof. | TSUCHIYAMA Gen | テキストアナリティクス特論 | Advanced Text Analytics | テキストアナリティクス、データサイエンス |
| 〃 トリッテ ジュリアン | Associate Prof. | TRIPETTE Julien | 身体行動計測特論 | Measurement of Physical Behaviour Theory, Advanced Course | 身体活動量評価、センシングテクノロジー |
| 〃 藤山 真美子 | Associate Prof. | FUJIYAMA Mamiko | 都市デザイン特論 | Urban Design, Advanced Course | 都市・建築デザイン、デザイン工学 |
| 〃 LE Hieu Hanh | Associate Prof. | LE Hieu Hanh | 共創データベース特論 | Advanced Transdisciplinary Database | データ工学・情報ストレージシステム |
| 講師 土田 修平 | Lecturer | TSUCHIDA Shuhei | ヒューマンコンピュータインタラクション演習 | Human-Computer Interaction Seminar | 情報工学、ヒューマンコンピュータインタラクション、計算機工学 |
| 助教 雨宮 敏子 | Assistant Prof. | AMEMIYA Toshiko | 衣環境機能材料特論 | Advanced Functional Materials for Clothing Environments | 衣服科学、生活機能材料 |
| 〃 佐藤 有理 | Assistant Prof. | SATO Yuri | 認知科学 | Cognitive Science | 現代英米哲学と認知科学・AIの学際研究 |
| (教授 伊藤 貴之) | Prof. | ITOH Takayuki | 可視化技術特論 | Advanced Visualization Technology | 情報可視化・マルチメディア |
| (教授 小口 正人) | Prof. | OGUCHI Masato | 共創コンピュータネットワーク特論 | Advanced Transdisciplinary Computer Networks | ネットワークコンピューティング・データ工学 |
| (教授 由良 敬) | Prof. | YURA Kei | 共創生命情報学特論 | Special Lectures on Transdisciplinary Bioinformatics | ゲノム・プロテオームの計算生物学研究 |

(注1) *印の教員は、2028年3月31日付で退職予定である。また、**印の教員は、主任指導教員として志望できない。

(注2) 2027年3月31日付で退職予定の教員は記載されていない。

(注3) ()付で掲載されている教員は、2028年度まで主任指導教員になることができない。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP 1

事前準備

以下のものをご用意ください

- ① パソコン(インターネット接続とPDF表示が可能なもの)、プリンタ
- ② 卒業(修了)証明書、成績証明書等の提出書類
- ③ 顔写真データ(当日に本人確認が可能な、3ヶ月以内に撮影した単身、脱帽、正面向きのもの。実際の容姿と異なるような加工等はしないこと。)
 - ファイル形式(jpeg,jpg,png,bmp)、最大10MBまで
- ④ 角形2号(24cm×33.2cm)の封筒(出願書類郵送用)

提出書類

(顔写真データ)

STEP 2

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/ocha-gs/>

または、
大学ホームページ ▶ <https://www.ao.ocha.ac.jp/>
からアクセス

STEP 3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

① 初めて登録する方は **マイページ登録** からログインしてください。

② メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信** をクリックしてください。

③ ユーザー登録画面から **ログインページへ** をクリックしてください。

④ 登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

⑤ ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた「初期パスワード」にて **ログイン** をクリックしてください。

⑥ 初期パスワードの変更を行ってください。

⑦ 表示された個人情報を入力して **次へ** をクリックしてください。

⑧ 個人情報を確認して **この内容で登録する** をクリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続を行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので**ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

4

出願内容の登録

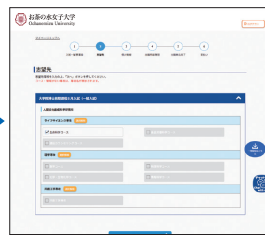
画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。
検定料は、⑥申込登録完了画面が表示されるまでは支払わないでください。



①マイページログイン後の
出願手続を行う ボタン
から登録画面へ



②入試区分の選択



③志望専攻・コース(領域)の
選択



④個人情報(氏名・住所等)の
入力



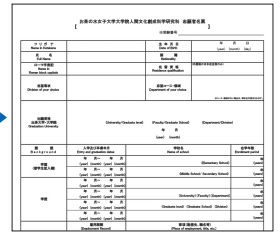
⑤出願内容の確認



⑥申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑦検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑧出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

※払込済の手数料は、いかなる理由があっても返還しません。

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

| | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

確認番号
メモ(6桁)

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|

収納機関番号
(5桁)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 8 | 0 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

5



検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

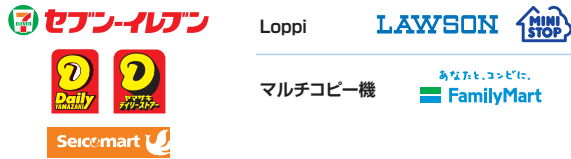
※決済する口座がネットバンキング契約されている必要があります

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

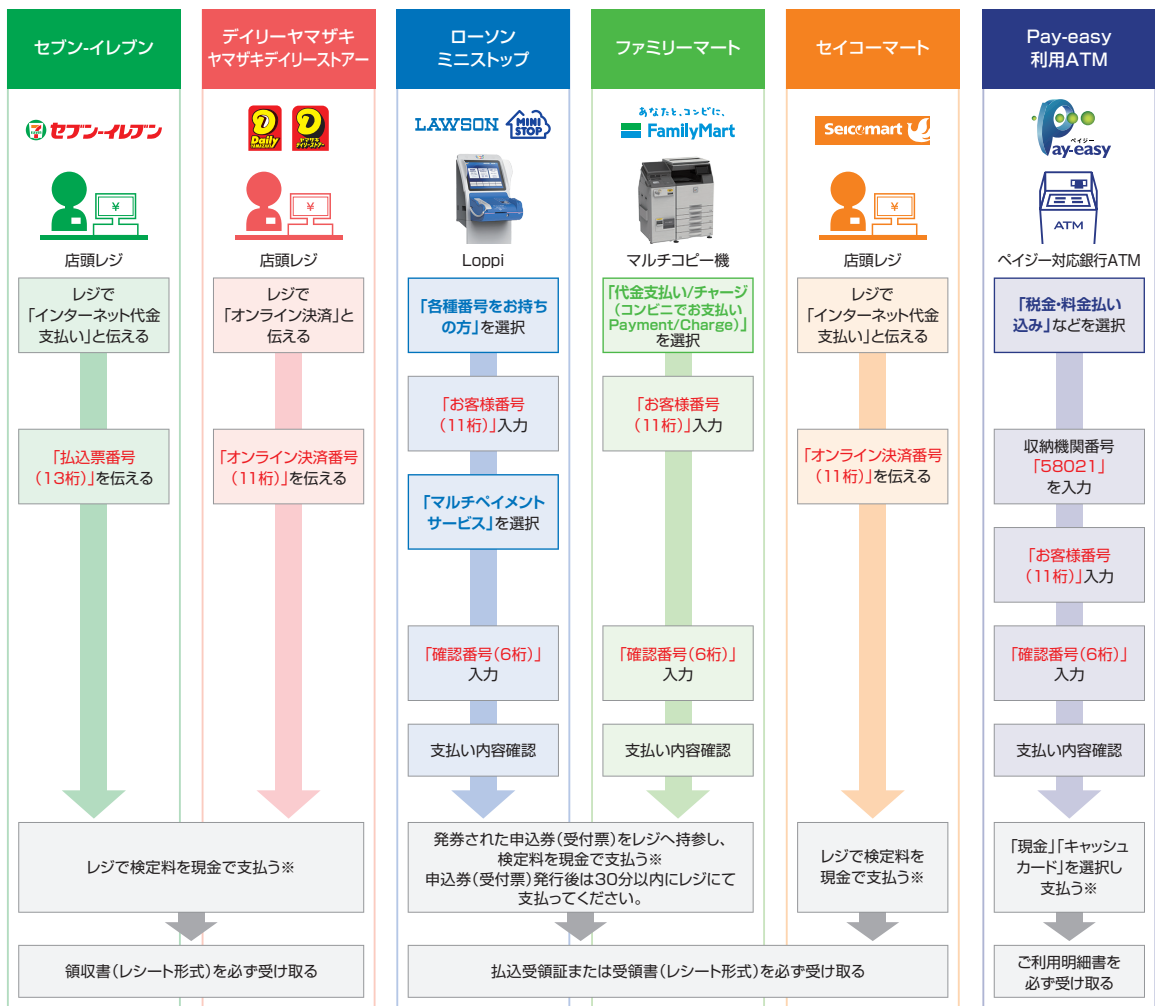
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。
 ※検定料の他に手数料がかかります。
 ※お支払期間は、申込日を含めて4日間です。ただし、4日以内に出席締切日となる場合には、締切日が優先されます。期間内に入金がない場合には、出願申込は自動的に取消されます。

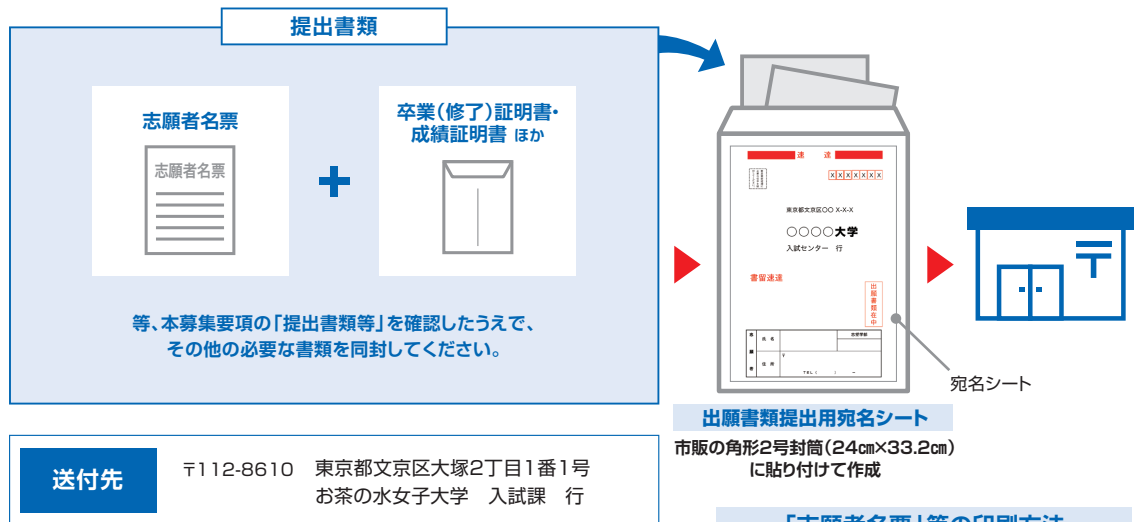
STEP

6

提出書類の印刷と郵送

登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、検定料の支払後に送られる「出願サービス 支払い完了のご案内」メールに記載されたURLから、志願者名票等をダウンロード・印刷し、その他の提出書類(詳細は「提出書類等」を確認してください)と併せて出願期間内に郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送してください。※出願締切日必着。



送付先

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試課 行

出願書類提出用宛名シート

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)
に貼り付けて作成

「志願者名票」等の印刷方法



※提出書類の入力事項(氏名や住所)に誤りがあった場合は、そのまま郵送せず、必ず入試課に連絡してください。

※異なる入試区分や入試日程(例:8月入試と2月入試ほか)に出願する際は、それぞれに提出書類を準備し、個別に出願してください。

※出願受理した検定料・提出書類は一切返却しません。

- (1) マイページに表示された「志願者名票(印刷)」のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると「志願者名票(印刷)」のボタンをクリックできるようになり志願者名票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、検定料を支払い、提出書類を郵送して完了となります。登録が完了しても提出期限までに書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願登録、検定料の支払いは出願締切日8時59分まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、必要書類の郵送は出願締切日必着です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

出願書類を受理したことを志願者に通知はしません。提出書類の配達状況は、郵便局の郵便追跡サービスで確認してください。

STEP

7

受験票の印刷

本学で出願受理後、出願期間の最終日から3週間後までに、受験票をインターネット出願サイトのマイページに掲載します(郵送はしません)。掲載時に受験票発行通知メールを送信しますので、必ず印刷して試験当日持参してください。また、入試実施日の1週間前までに受験者心得などをインターネット出願サイトのマイページに掲載します(郵送はしません)。事前に印刷のうえ試験当日に持参するか、スマートフォン等で確認できるようにしておいてください。



※受験票は必ずA4判用紙に片面印刷にしてください。

※受験者心得には受験にあたっての注意事項が書かれています。必ず受験前に内容を確認してください。

※入試実施日の1週間前になっても受験票のダウンロードができない場合はお問い合わせください。

○お茶の水女子大学交通案内

【池袋駅から】

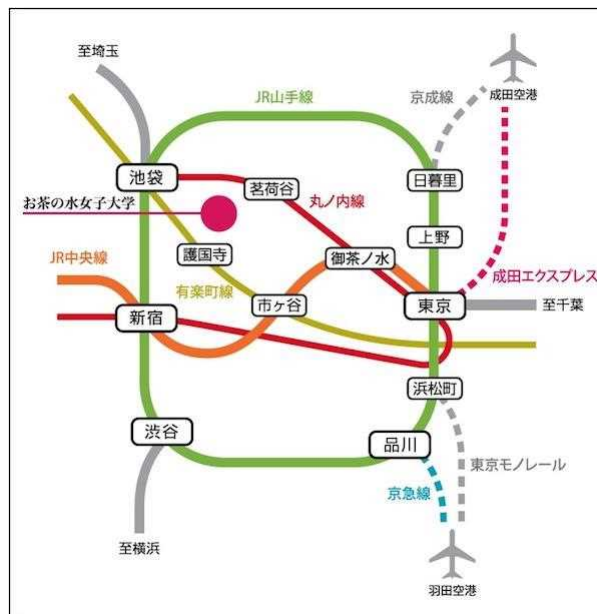
東京メトロ丸ノ内線 「新宿、荻窪方面行」茗荷谷駅下車 徒歩約7分
東京メトロ有楽町線 「新木場方面行」 護国寺駅下車（5番出口） 徒歩約8分
都営バス-都02乙 「東京ドームシティ(一ツ橋)行」大塚二丁目下車 徒歩約1分

【東京駅 又は 御茶ノ水駅から】

東京メトロ丸ノ内線 「池袋方面行」茗荷谷駅下車 徒歩約7分

【大塚駅から】

都営バス-都02 「錦糸町駅前行」大塚二丁目下車 徒歩約1分



大学院博士前期課程

学士・修士一貫教育トラック特別選抜
内部推薦特別入試

所定様式類

志 望 理 由 書

(本学所定の用紙)

| 氏 名 | | 受験番号 | ※ |
|-------|--|------|---|
| 志望専攻 | | コース | |
| | | | |

※欄は、記入しないこと。

*この書式に沿ったものであればパソコン等で作成するものは可。この場合けい線は不要。

フォントサイズを原則10pt以上とすること(図表などを除く)。

ただし、氏名・参考文献等も含めて、特に指定がなければA4判で片面(表面)1枚のみに収めること。

(学士・修士一貫教育トラック特別選抜／内部推薦入試用)

推薦書 兼 学士・修士一貫教育トラック特別選抜確認票

※ 受験番号 _____

お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 (博士前期課程) _____ 専攻 _____ コース _____

入学志願者 _____ を、

- 学士・修士一貫教育トラック特別選抜の出願資格を満たした者と確認しました。
 下記のとおり推薦します。

(◎上記いずれかにチェック してください。)

年 月 日

推薦者〔確認者〕(所属・職名)

(氏 名) _____ 印

志願者を推薦する理由などを記入願います。(※必ずA4判片面1枚に収めること。)

(注:学士・修士一貫教育トラック特別選抜でも、推薦書の提出を必須としている場合は記入願います。)

※欄は、記入しないでください。